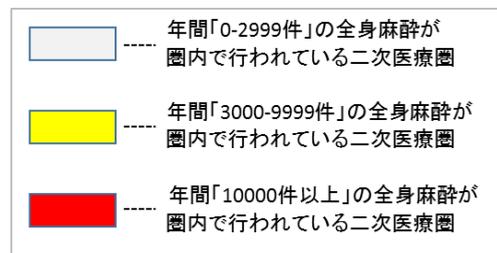
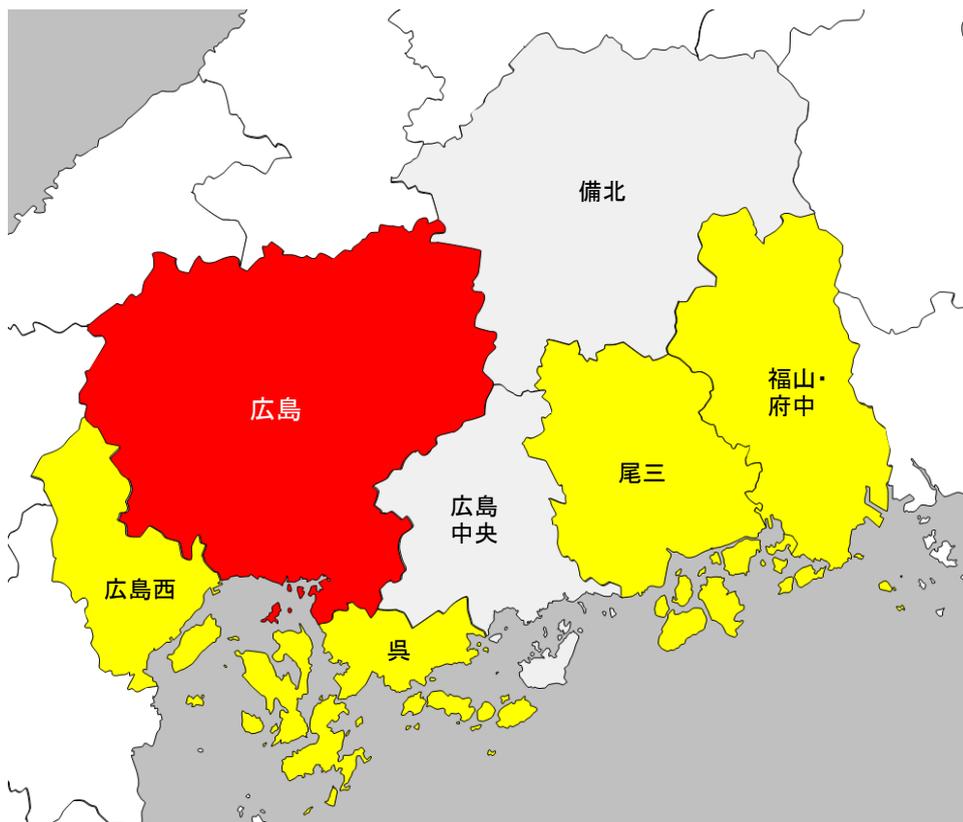


34. 広島県

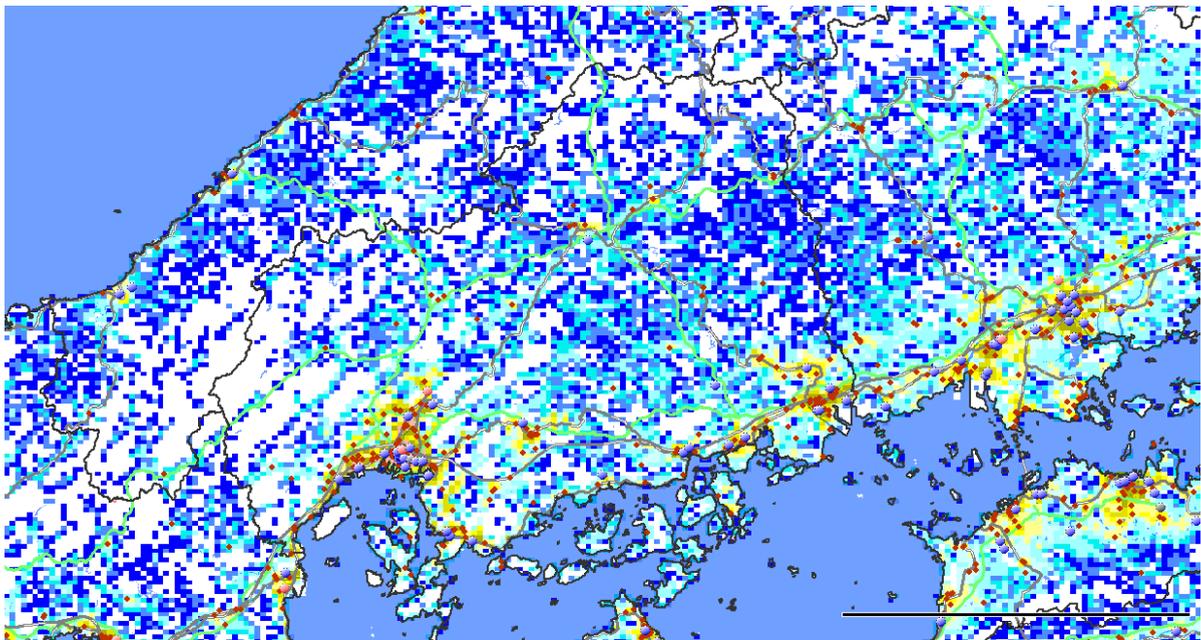


目次

広島県	34	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	34	-	8
1. 広島医療圏	34	-	20
2. 広島西医療圏	34	-	25
3. 呉医療圏	34	-	30
4. 広島中央医療圏	34	-	35
5. 尾三医療圏	34	-	40
6. 福山・府中医療圏	34	-	45
7. 備北医療圏	34	-	50

34. 広島県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（広島県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 広島県は、総人口約2825千人（2015年推計）、面積8480km²、人口密度は333人/km²である。

***人口の将来予測：** 広島県の総人口は2025年に2689千人へと減少し（2015年比－5%）、2040年に2391千人へと減少する（2025年比－11%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の386千人が、2025年にかけて516千人へと増加し（2015年比＋34%）、2040年には508千人へと減少する（2025年比－2%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 広島県の一人当たり医療費（国保）は376千円（偏差値64）、介護給付費は274千円（偏差値56）であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 広島県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.4で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が51（病院医師数49、診療所医師数54）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は55と療養病床数はやや多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 広島県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、42572人（75歳以上1000人当たりの偏差値57）と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が24642床（偏差値53）、高齢者住宅等が17930床（偏差値55）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、37273人（75歳以上1000人当たりの偏差値67）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム48、軽費ホーム50、グループホーム55、サ高住59である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員（在宅）の合計は、5386人（75歳以上1000人当たりの偏差値51）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は－16%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島県の総人口は、2005年2876642人が、2015年に2825397人と2%減少し、2025年の人口が2688800人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

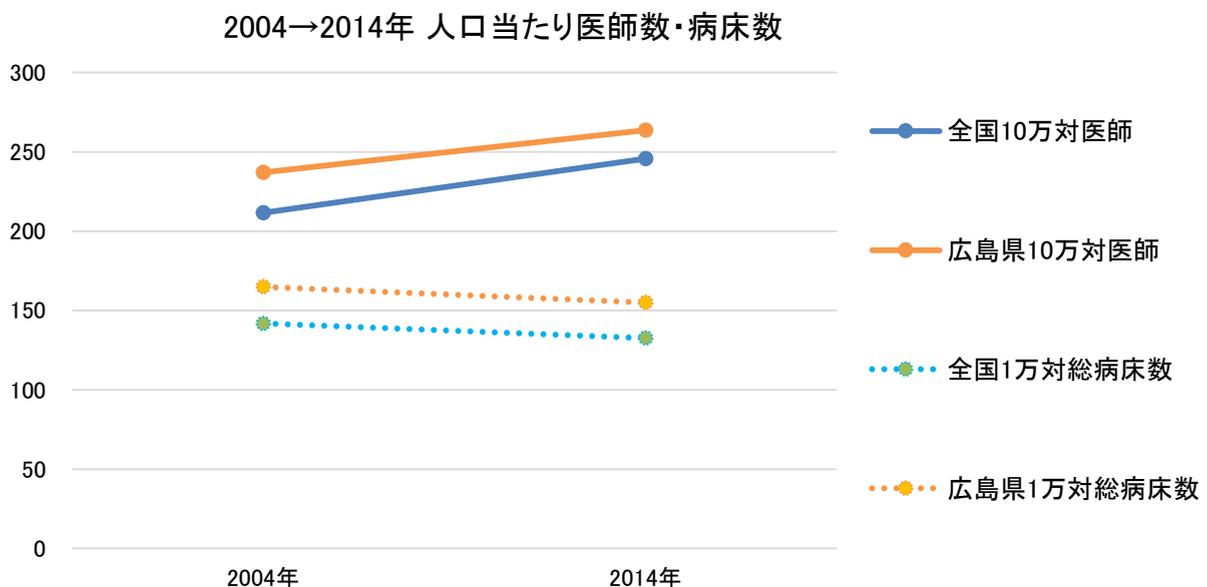
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が262(人口10万人当たり9.1病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2014年に244(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で18病院が減少した。

2004年の診療所数が2615(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に2591(人口10万人当たり92診療所(全国平均79)偏差値56)と、24診療所が減少した。

2004年の総病床数が47459床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に43799床(人口1万人当たり155(全国平均133)偏差値54)と、3660床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

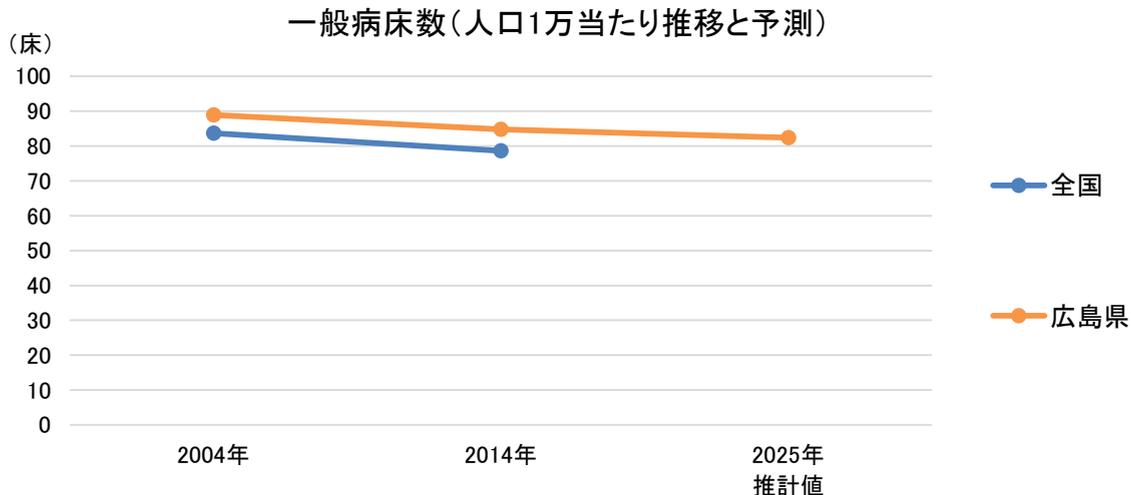
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が6821人(人口10万人当たり237人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に7453人(人口10万人当たり264人(全国平均246人)偏差値52)との増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



34. 広島県（2016年版）

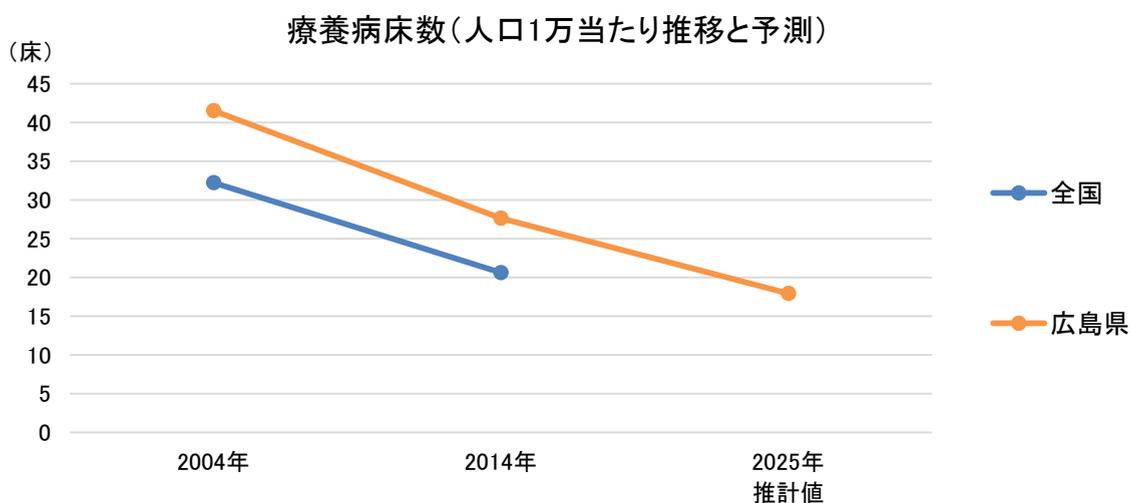
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が25575床(人口1万人当たり89(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に23941床(人口1万人当たり85(全国平均79)偏差値52)と、1634床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には22143床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



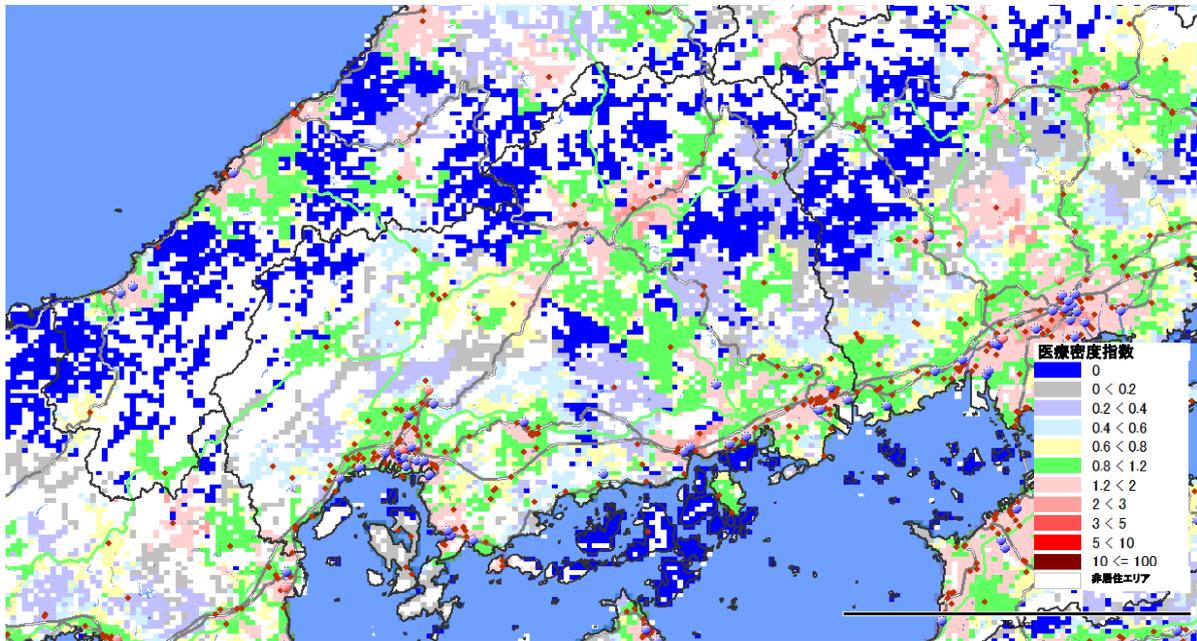
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が11988床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に10690床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、1298床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9263床(2025年の推計75歳以上1000人当たり18)になることが予想される。

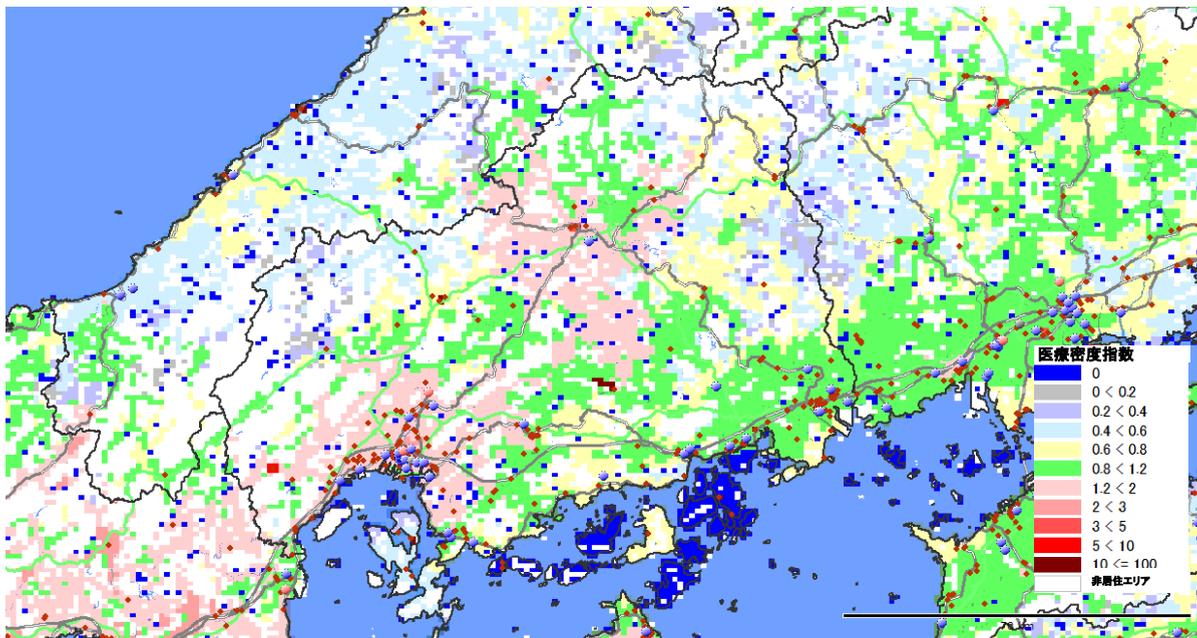


3. 医療密度⁵

図表34-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-2 慢性期医療密度指数マップ



34. 広島県（2016年版）

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 34-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
広島県	2,825	12位	8,480	11位	333.2		28%	2,689	2,391	386	516	508	-5%	-11%	34%	-2%
広島	1,357	48%	2,505	30%	541.9	大都市型	25%	1,329	1,226	161	235	247	-2%	-8%	46%	5%
広島西	139	5%	568	7%	244.9	地方都市型	30%	129	108	20	27	28	-7%	-16%	35%	4%
呉	252	9%	455	5%	553.8	地方都市型	34%	222	176	43	51	39	-12%	-21%	19%	-24%
広島中央	227	8%	797	9%	285.2	地方都市型	25%	223	208	27	37	38	-2%	-7%	37%	3%
尾三	252	9%	1,034	12%	243.3	地方都市型	34%	226	186	45	52	46	-10%	-18%	16%	-12%
福山・府中	507	18%	1,096	13%	462.5	地方都市型	29%	480	422	71	94	93	-5%	-12%	32%	-1%
備北	91	3%	2,025	24%	45.1	過疎地域型	37%	80	65	20	21	18	-12%	-19%	5%	-14%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 34-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
広島県	1.08	1.40	-18.0%	-16.1%
広島	1.14	1.95	-26.2%	-32.7%
広島西	0.76	1.44	-41.1%	-45.2%
呉	1.14	1.24	-13.5%	12.3%
広島中央	0.83	1.32	-15.1%	-18.0%
尾三	1.09	1.01	-9.3%	4.2%
福山・府中	1.06	3.04	-24.6%	-22.4%
備北	1.13	1.59	14.5%	24.5%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 34-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
広島県	376	64	1.134	274	56
広島	380	65	1.165	274	55
広島西	360	60	1.066	242	47
呉	421	75	1.155	251	49
広島中央	361	60	1.062	259	51
尾三	387	67	1.086	293	61
福山・府中	344	56	1.037	277	56
備北	398	69	1.114	350	76
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 34-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
広島県	244	2.9%	8.6	55	2,591	2.6%	92	56
広島	98	40%	7.2	51	1,342	52%	99	60
広島西	13	5%	9.3	56	124	5%	89	55
呉	30	12%	11.9	63	264	10%	105	63
広島中央	20	8%	8.8	55	171	7%	75	48
尾三	25	10%	9.9	58	215	8%	85	53
福山・府中	47	19%	9.3	56	379	15%	75	48
備北	11	5%	12.1	63	96	4%	105	63
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 34-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
広島県	2,591	2.6%	92	56	2,356	2.6%	83	56	235	2.8%	8.3	53
広島	1,342	52%	99	60	1,234	52%	91	60	108	46%	8.0	52
広島西	124	5%	89	55	115	5%	83	55	9	4%	6.5	50
呉	264	10%	105	63	242	10%	96	62	22	9%	8.7	53
広島中央	171	7%	75	48	154	7%	68	47	17	7%	7.5	51
尾三	215	8%	85	53	195	8%	77	53	20	9%	7.9	52
福山・府中	379	15%	75	48	333	14%	66	46	46	20%	9.1	54
備北	96	4%	105	63	83	4%	91	60	13	6%	14.2	62
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

34. 広島県（2016年版）

資_図表 34-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院				診療所				病院+診療所			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
広島県	40,418	2.6%	1,431	54	3,381	3.0%	120	53	43,799	2.6%	1,550	54
広島	17,062	42%	1,257	50	1,602	47%	118	53	18,664	43%	1,375	51
広島西	2,573	6%	1,850	62	116	3%	83	49	2,689	6%	1,933	61
呉	4,643	11%	1,844	62	320	9%	127	54	4,963	11%	1,971	61
広島中央	3,367	8%	1,481	55	188	6%	83	49	3,555	8%	1,564	54
尾三	4,537	11%	1,803	61	301	9%	120	53	4,838	11%	1,923	61
福山・府中	6,423	16%	1,267	51	674	20%	133	54	7,097	16%	1,400	51
備北	1,813	4%	1,986	65	180	5%	197	60	1,993	5%	2,184	65
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 34-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
広島県	21,136	2.4%	748	52	10,114	3.1%	358	55	8,985	2.7%	318	52
広島	8,845	42%	652	48	4,585	45%	338	54	3,555	40%	262	50
広島西	1,140	5%	820	55	957	9%	688	70	476	5%	342	53
呉	2,391	11%	949	61	859	8%	341	54	1,347	15%	535	62
広島中央	1,651	8%	726	51	724	7%	319	53	938	10%	413	57
尾三	2,595	12%	1,031	64	1,012	10%	402	57	930	10%	370	55
福山・府中	3,686	17%	727	51	1,227	12%	242	49	1,504	17%	297	51
備北	828	4%	907	59	750	7%	822	77	235	3%	257	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 34-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期				地域包括			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
広島県	1,843	2.6%	65	52	1,259	3.5%	45	52
広島	883	48%	65	52	504	40%	37	51
広島西	180	10%	129	66	10	1%	7	44
呉	183	10%	73	54	97	8%	39	51
広島中央	49	3%	22	43	107	8%	47	53
尾三	151	8%	60	51	228	18%	91	62
福山・府中	347	19%	68	53	179	14%	35	50
備北	50	3%	55	50	134	11%	147	73
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

資_図表 34-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
広島県	13,855	11,878	527	26,513	9,148	9,622	56.5%	52	5.2%	48
広島	5,591	4,667	268	11,462	4,149	4,337	52.9%	50	5.8%	49
広島西	1,049	1,049	0	1,512	87	949	92.3%	67	0.0%	46
呉	1,787	1,691	0	2,774	618	859	73.2%	59	0.0%	46
広島中央	1,364	960	20	2,043	731	704	56.8%	52	2.8%	47
尾三	1,504	1,356	148	2,976	1,198	861	53.1%	50	14.7%	52
福山・府中	1,771	1,407	50	4,722	2,285	1,203	38.1%	44	4.0%	48
備北	789	748	41	1,024	80	709	90.3%	66	5.5%	48

出典 地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。

資_図表 34-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,226	(1,063)	1,022,592		807	(286)
広島県	68,100	2.4%	2,410	52	25,332	2.5%	897	53
広島	37,404	55%	2,755	55	12,204	48%	899	53
広島西	4,104	6%	2,951	57	1,752	7%	1,260	66
呉	7,404	11%	2,940	57	1,920	8%	762	48
広島中央	948	1%	417	33	1,380	5%	607	43
尾三	5,832	9%	2,318	51	2,436	10%	968	56
福山・府中	10,464	15%	2,065	48	4,956	20%	978	56
備北	1,944	3%	2,130	49	684	3%	749	48

出典 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

資_図表 34-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
広島県	7,834	2.3%	277	51	4,547	2.2%	161	49	3,287	2.5%	116	54
広島	4,049	52%	298	53	2,298	51%	169	51	1,752	53%	129	58
広島西	392	5%	282	51	241	5%	173	51	151	5%	109	52
呉	842	11%	334	57	512	11%	203	56	330	10%	131	59
広島中央	466	6%	205	43	259	6%	114	42	207	6%	91	46
尾三	647	8%	257	49	388	9%	154	48	259	8%	103	50
福山・府中	1,191	15%	235	46	695	15%	137	46	496	15%	98	48
備北	247	3%	270	50	155	3%	169	51	92	3%	101	49

出典 病院医師数と診療所医師数の合計 平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月 平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月

34. 広島県（2016年版）

資_図表 34-12 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
広島県	379	2.4%	13.4	52	286	2.3%	10.1	51	218	2.1%	7.7	49
広島	221	58%	16.3	56	160	56%	11.8	54	119	55%	8.8	51
広島西	11	3%	7.9	43	17	6%	12.2	55	12	6%	8.6	51
呉	33	9%	13.1	51	28	10%	11.1	53	22	10%	8.7	51
広島中央	16	4%	7.0	42	18	6%	7.9	46	8	4%	3.5	38
尾三	32	8%	12.7	51	19	7%	7.6	45	16	7%	6.4	45
福山・府中	52	14%	10.3	47	38	13%	7.5	45	35	16%	6.9	47
備北	14	4%	15.3	54	6	2%	6.6	43	6	3%	6.6	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科専門医数				眼科専門医数				耳鼻咽喉科専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
広島県	124	2.3%	4.4	51	221	2.4%	7.8	51	188	2.5%	6.7	53
広島	80	65%	5.9	58	125	57%	9.2	56	104	55%	7.7	57
広島西	7	6%	5.0	54	11	5%	7.9	52	9	5%	6.5	52
呉	8	6%	3.2	45	22	10%	8.7	54	17	9%	6.7	53
広島中央	4	3%	1.8	39	14	6%	6.2	46	8	4%	3.5	41
尾三	8	6%	3.2	45	14	6%	5.6	44	12	6%	4.8	46
福山・府中	15	12%	3.0	44	31	14%	6.1	46	34	18%	6.7	53
備北	2	2%	2.2	41	4	2%	4.4	41	4	2%	4.4	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科専門医数				外科専門医数				整形外科専門医数			
	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	総数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
広島県	228	2.7%	8.1	54	525	2.6%	18.6	53	407	2.6%	14.4	55
広島	127	56%	9.4	58	265	50%	19.5	55	216	53%	15.9	58
広島西	8	4%	5.8	48	17	3%	12.2	45	16	4%	11.5	49
呉	17	7%	6.7	51	51	10%	20.2	56	40	10%	15.9	58
広島中央	26	11%	11.4	64	36	7%	15.8	50	34	8%	15.0	56
尾三	22	10%	8.7	56	46	9%	18.3	53	32	8%	12.7	51
福山・府中	25	11%	4.9	45	97	18%	19.1	54	58	14%	11.4	48
備北	3	1%	3.3	41	13	2%	14.2	47	11	3%	12.1	50
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
広島県	119	2.1%	4.2	49	163	2.6%	5.8	53	131	2.5%	4.6	52
広島	60	50%	4.4	50	84	52%	6.2	55	74	56%	5.5	54
広島西	6	5%	4.3	49	11	7%	7.9	62	5	4%	3.6	48
呉	14	12%	5.6	55	17	10%	6.7	57	17	13%	6.7	59
広島中央	7	6%	3.1	43	9	6%	4.0	45	3	2%	1.3	40
尾三	7	6%	2.8	42	15	9%	6.0	54	9	7%	3.6	48
福山・府中	21	18%	4.1	48	23	14%	4.5	48	20	15%	3.9	49
備北	4	3%	4.4	49	4	2%	4.4	47	3	2%	3.3	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
広島県	163	2.5%	5.8	52	21	1.4%	0.7	45	82	2.5%	2.9	52
広島	94	58%	6.9	56	13	62%	1.0	47	48	59%	3.5	55
広島西	6	4%	4.3	47	2	10%	1.4	52	4	5%	2.9	52
呉	16	10%	6.4	54	2	10%	0.8	45	10	12%	4.0	58
広島中央	7	4%	3.1	43	0	0%	0	37	0	0%	0	35
尾三	9	6%	3.6	45	1	5%	0.4	41	6	7%	2.4	49
福山・府中	25	15%	4.9	49	3	14%	0.6	43	14	17%	2.8	51
備北	6	4%	6.6	54	0	0%	0	37	0	0%	0	35
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 34-17 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテーション科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
広島県	33	1.7%	1.2	47	60	2.5%	2.1	52
広島	19	58%	1.4	49	38	63%	2.8	57
広島西	2	6%	1.4	49	1	2%	0.7	41
呉	2	6%	0.8	44	6	10%	2.4	54
広島中央	1	3%	0.4	41	2	3%	0.9	42
尾三	1	3%	0.4	40	1	2%	0.4	39
福山・府中	8	24%	1.6	50	11	18%	2.2	52
備北	0	0%	0	37	1	2%	1.1	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

34. 広島県（2016年版）

資_図表 34-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
広島県	29,762	2.7%	1,053	56	23,492	2.6%	831	55	6,270	3.2%	222	59
広島	13,636	46%	1,005	55	10,422	44%	768	52	3,215	51%	237	61
広島西	1,704	6%	1,225	62	1,417	6%	1,019	63	287	5%	206	57
呉	3,092	10%	1,227	62	2,524	11%	1,002	62	568	9%	225	59
広島中央	2,065	7%	908	51	1,721	7%	757	52	344	5%	151	49
尾三	3,228	11%	1,283	64	2,625	11%	1,043	64	603	10%	240	61
福山・府中	4,867	16%	960	53	3,875	16%	765	52	992	16%	196	55
備北	1,171	4%	1,283	64	908	4%	995	62	263	4%	288	68
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 34-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
広島県	2,956	2.5%	105	52	6,767	2.3%	240	51
広島	1,252	42%	92	50	3,468	51%	255	53
広島西	214	7%	154	62	318	5%	229	50
呉	290	10%	115	54	589	9%	234	51
広島中央	247	8%	109	53	379	6%	167	44
尾三	364	12%	144	60	609	9%	242	51
福山・府中	506	17%	100	51	1,243	18%	245	52
備北	83	3%	91	49	161	2%	176	45
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 34-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
広島県	585	4.0%	1.5	64	35	3.1%	0.1	53	273	2.8%	0.7	57
広島	285	49%	1.8	69	13	37%	0.1	52	140	51%	0.9	66
広島西	26	4%	1.3	59	2	6%	0.1	55	19	7%	1.0	70
呉	53	9%	1.2	57	4	11%	0.1	54	24	9%	0.6	49
広島中央	46	8%	1.7	68	2	6%	0.1	51	19	7%	0.7	57
尾三	67	11%	1.5	63	2	6%	0.0	46	26	10%	0.6	50
福山・府中	89	15%	1.3	58	11	31%	0.2	64	36	13%	0.5	46
備北	19	3%	0.9	51	1	3%	0.0	47	9	3%	0.4	42
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

資_図表 34-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険 施設定員 (病床)数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	42,572	2.6%	110	57	24,642	2.5%	64	53	17,930	2.8%	46	55
広島	19,003	45%	118	61	9,773	40%	61	51	9,230	51%	57	62
広島西	1,932	5%	97	48	1,185	5%	59	50	747	4%	37	49
呉	4,119	10%	96	48	3,061	12%	71	59	1,058	6%	25	40
広島中央	3,021	7%	112	58	1,978	8%	74	61	1,043	6%	39	50
尾三	4,576	11%	102	52	3,031	12%	68	56	1,545	9%	35	47
福山・府中	7,869	18%	111	57	4,103	17%	58	49	3,766	21%	53	59
備北	2,052	5%	101	51	1,511	6%	74	61	541	3%	27	41
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 34-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	8,991	2.5%	23	52	12,501	2.3%	32	49	3,150	4.7%	8.2	60
広島	3,242	36%	20	47	5,001	40%	31	47	1,530	49%	9.5	63
広島西	476	5%	24	53	491	4%	25	41	218	7%	10.9	66
呉	1,322	15%	31	65	1,417	11%	33	49	322	10%	7.5	58
広島中央	731	8%	27	59	1,023	8%	38	54	224	7%	8.3	60
尾三	1,242	14%	28	60	1,379	11%	31	47	410	13%	9.2	62
福山・府中	1,483	16%	21	48	2,263	18%	32	48	357	11%	5.1	52
備北	495	6%	24	54	927	7%	45	62	89	3%	4.4	51
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
広島県	4,408	2.0%	11.4	48	511	2.2%	1.3	50	5,562	2.9%	14.4	55
広島	2,802	64%	17.4	54	140	27%	0.9	48	2,784	50%	17.3	60
広島西	217	5%	10.9	47	0	0%	0	43	180	3%	9.0	45
呉	152	3%	3.5	40	76	15%	1.8	52	332	6%	7.7	43
広島中央	248	6%	9.2	46	30	6%	1.1	49	216	4%	8.0	44
尾三	337	8%	7.5	44	75	15%	1.7	51	495	9%	11.1	49
福山・府中	556	13%	7.9	44	100	20%	1.4	50	1,312	24%	18.6	62
備北	96	2%	4.7	41	90	18%	4.4	65	243	4%	11.9	51
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

34. 広島県（2016年版）

資_図表 34-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
広島県	7,449	3.5%	19.3	59	495	3.8%	1.3	53	6,954	3.5%	18.0	59
広島	3,504	47%	21.8	63	39	8%	0.2	47	3,465	50%	21.5	65
広島西	350	5%	17.5	57	0	0%	0	45	350	5%	17.5	59
呉	498	7%	11.6	48	138	28%	3.2	65	360	5%	8.4	44
広島中央	549	7%	20.4	61	156	32%	5.8	81	393	6%	14.6	54
尾三	638	9%	14.3	52	0	0%	0	45	638	9%	14.3	53
福山・府中	1,798	24%	25.5	69	132	27%	1.9	57	1,666	24%	23.6	68
備北	112	2%	5.5	39	30	6%	1.5	54	82	1%	4.0	37
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 34-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数(施設)				看護師数(訪問)			
	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
広島県	4,944	3.1%	12.8	63	3,663	3.1%	9.5	61	1,280	3.0%	3.3	59
広島	2,208	45%	13.7	67	1,516	41%	9.4	60	691	54%	4.3	70
広島西	283	6%	14.1	69	210	6%	10.5	65	72	6%	3.6	62
呉	549	11%	12.8	63	430	12%	10.0	63	119	9%	2.8	52
広島中央	402	8%	15.0	72	313	9%	11.6	70	89	7%	3.3	59
尾三	551	11%	12.3	61	434	12%	9.7	62	117	9%	2.6	50
福山・府中	742	15%	10.5	53	588	16%	8.3	55	155	12%	2.2	46
備北	210	4%	10.3	52	172	5%	8.4	56	38	3%	1.8	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数(介護施設等)				介護職員数(在宅)			
	介護サー ビス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
広島県	42,659	2.9%	110	67	37,273	3.0%	96	67	5,386	2.4%	13.9	51
広島	18,345	43%	114	69	15,214	41%	95	66	3,131	58%	19.5	61
広島西	1,716	4%	86	47	1,501	4%	75	49	216	4%	10.8	45
呉	4,311	10%	100	58	3,798	10%	89	60	513	10%	12.0	47
広島中央	3,084	7%	115	70	2,858	8%	106	76	227	4%	8.4	41
尾三	4,394	10%	98	57	3,975	11%	89	61	419	8%	9.4	42
福山・府中	8,405	20%	119	74	7,690	21%	109	78	715	13%	10.1	44
備北	2,402	6%	118	73	2,237	6%	110	79	166	3%	8.1	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
広島県	33,675	3.1%	87	57	10,991	2.7%	28	53	36,051	2.4%	93	51
広島	17,776	53%	110	65	6,426	58%	40	64	18,692	52%	116	58
広島西	784	2%	39	42	451	4%	23	48	1,468	4%	73	44
呉	4,450	13%	104	63	925	8%	22	47	3,849	11%	90	50
広島中央	1,151	3%	43	43	512	5%	19	44	1,696	5%	63	41
尾三	2,705	8%	60	48	1,056	10%	24	49	3,844	11%	86	48
福山・府中	5,974	18%	85	56	1,348	12%	19	44	5,122	14%	73	44
備北	835	2%	41	42	273	2%	13	39	1,380	4%	68	43
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 34-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
広島県		2,876,642	2,825,397	-2%	2,688,800	-7%	12%	5%	17%
広島	大都市型	1,333,953	1,357,496	2%	1,329,204	0%	18%	9%	28%
広島西	地方都市型	145,809	139,083	-5%	128,917	-12%	11%	6%	17%
呉	地方都市型	280,942	251,854	-10%	221,612	-21%	2%	-5%	-3%
広島中央	地方都市型	224,323	227,292	1%	222,702	-1%	12%	6%	19%
尾三	地方都市型	273,287	251,646	-8%	226,245	-17%	3%	-2%	0%
福山・府中	地方都市型	515,865	506,757	-2%	479,994	-7%	13%	5%	18%
備北	過疎地域型	102,463	91,269	-11%	80,126	-22%	-3%	-7%	-9%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口、年齢(3区分)・割合、就業者数、昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 34-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年 推計値
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
広島県	262	9.1	55	244	8.6	55	-18	-7%	225
広島	103	7.7	52	98	7.2	51	-5	-5%	93
広島西	14	9.6	56	13	9.3	56	-1	-7%	12
呉	35	12.5	64	30	11.9	63	-5	-14%	25
広島中央	21	9.4	56	20	8.8	55	-1	-5%	19
尾三	26	9.5	56	25	9.9	58	-1	-4%	24
福山・府中	53	10.3	58	47	9.3	56	-6	-11%	40
備北	10	9.8	57	11	12.1	63	1	10%	12
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

34. 広島県（2016年版）

資_図表 34-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
広島県	2,615	91	57	2,591	92	56	-24	-1%	2,566
広島	1,330	100	62	1,342	99	60	12	1%	1,355
広島西	127	87	56	124	89	55	-3	-2%	121
呉	297	106	65	264	105	63	-33	-11%	228
広島中央	166	74	49	171	75	48	5	3%	177
尾三	239	87	56	215	85	53	-24	-10%	189
福山・府中	358	69	47	379	75	48	21	6%	402
備北	98	96	60	96	105	63	-2	-2%	94
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 34-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
広島県	6,821	237	53	7,453	264	52	632	9%	8,148
広島	3,472	260	56	3,952	291	55	480	14%	4,480
広島西	308	211	50	372	267	52	64	21%	442
呉	820	292	60	819	325	58	-1	0%	818
広島中央	393	175	46	437	192	45	44	11%	485
尾三	609	223	51	572	227	48	-37	-6%	531
福山・府中	996	193	48	1,083	214	47	87	9%	1,179
備北	223	218	51	218	239	49	-5	-2%	213
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 34-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
広島県	47,459	165	54	43,799	155	54	-3,660	-8%	39,774
広島	20,223	152	52	18,664	137	51	-1,559	-8%	16,949
広島西	2,817	193	59	2,689	193	61	-128	-5%	2,548
呉	5,444	194	59	4,963	197	61	-481	-9%	4,434
広島中央	3,760	168	55	3,555	156	54	-205	-5%	3,330
尾三	5,153	189	58	4,838	192	61	-315	-6%	4,492
福山・府中	7,920	154	52	7,097	140	51	-823	-10%	6,192
備北	2,142	209	62	1,993	218	65	-149	-7%	1,829
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 34-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
広島県	25,575	89	52	23,941	85	52	-1,634	-6%	22,143	82
広島	11,237	84	50	10,200	75	49	-1,037	-9%	9,059	68
広島西	1,312	90	52	1,226	88	54	-86	-7%	1,131	88
呉	2,688	96	54	2,631	104	59	-57	-2%	2,568	116
広島中央	1,814	81	49	1,819	80	51	5	0%	1,825	82
尾三	3,122	114	61	2,860	114	63	-262	-8%	2,572	114
福山・府中	4,455	86	51	4,248	84	52	-207	-5%	4,020	84
備北	947	92	53	957	105	60	10	1%	968	121
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 34-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
広島県	11,988	42	55	10,690	28	56	-1,298	-11%	9,263	18
広島	5,055	47	58	4,832	30	58	-223	-4%	4,587	20
広島西	1,029	70	71	987	49	75	-42	-4%	941	34
呉	1,258	35	52	939	22	51	-319	-25%	588	12
広島中央	888	42	55	744	28	56	-144	-16%	586	16
尾三	1,070	28	48	1,048	23	52	-22	-2%	1,024	20
福山・府中	1,778	35	51	1,339	19	49	-439	-25%	856	9
備北	910	49	59	801	39	66	-109	-12%	681	33
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 34-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人あたり実績医療費⁹

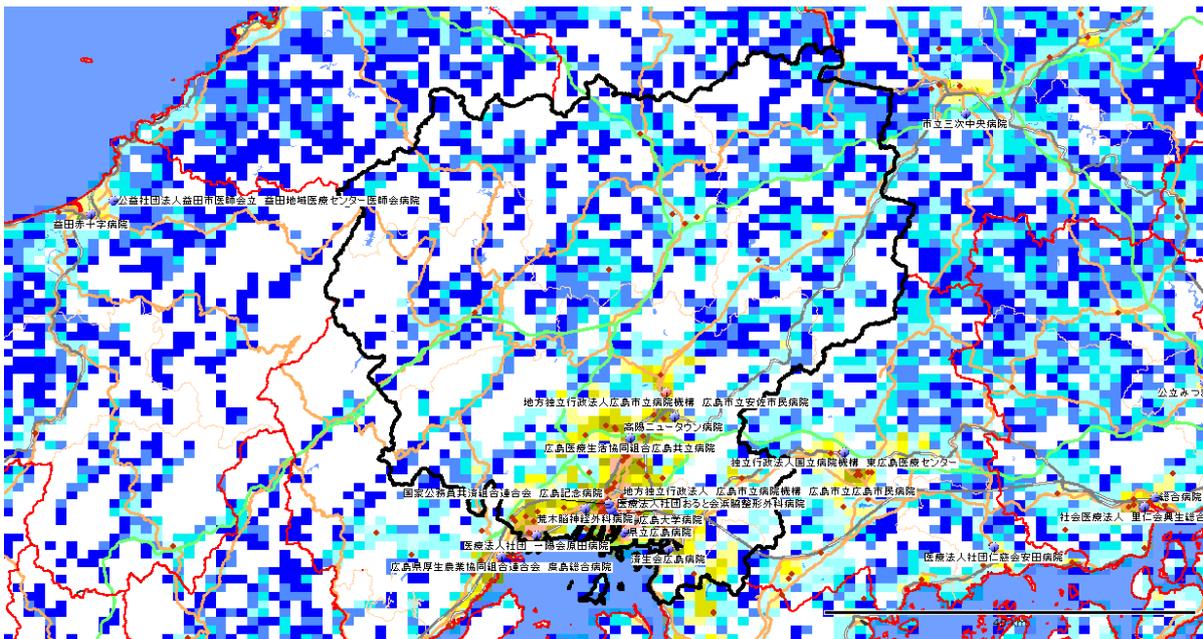
二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費			入院外+ 調剤		
				(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	(単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
広島県	384	63	1.117	149	58	1.130	207	67	1.107
広島	390	65	1.160	146	57	1.129	215	72	1.180
広島西	365	59	1.050	141	55	1.050	197	61	1.043
呉	434	75	1.159	181	69	1.254	221	76	1.088
広島中央	363	58	1.040	142	55	1.055	193	59	1.019
尾三	393	65	1.076	158	61	1.124	207	68	1.047
福山・府中	351	56	1.031	137	54	1.048	188	56	1.019
備北	409	69	1.117	174	67	1.231	211	70	1.060
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

ひろしま 34-1. 広島医療圏

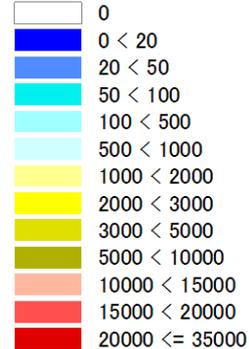
構成市区町村¹⁰

中区	東区	南区	西区
安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
安芸高田市	府中町	海田町	熊野町
坂町	安芸太田町	北広島町	

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(広島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 広島(広島市中区)は、総人口約1357千人(2015年推計)、面積2505km²、人口密度は542人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 広島の総人口は2025年に1329千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に1226千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の161千人が、2025年にかけて235千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には247千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 広島の一人当たり医療費(国保)は380千円(偏差値65)、介護給付費は274千円(偏差値55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 広島の一人当たり急性期医療密度指数²は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.95で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が53(病院医師数51、診療所医師数58)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は55とやや多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。広島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の県立広島病院(Ⅱ群・救命)、広島市立安佐市民病院(Ⅱ群)、広島市立広島市民病院(Ⅱ群・救命)、広島大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上のマツダ病院(Ⅲ群)、広島赤十字・原爆病院(Ⅲ群)、中電病院(Ⅲ群)、500例以上の広島記念病院(Ⅲ群)、浜脇整形外科病院(Ⅲ群)、広島鉄道病院(Ⅲ群)、土谷総合病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 広島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19003人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9773床(偏差値51)、高齢者住宅等が9230床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、15214人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム54、軽費ホーム48、グループホーム60、サ高住63である。
- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値69と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値66と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、3131人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。
- *介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-33%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島医療圏の総人口は、2005年1333953人が、2015年に1357496人と2%増加し、2025年の人口が1329204人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

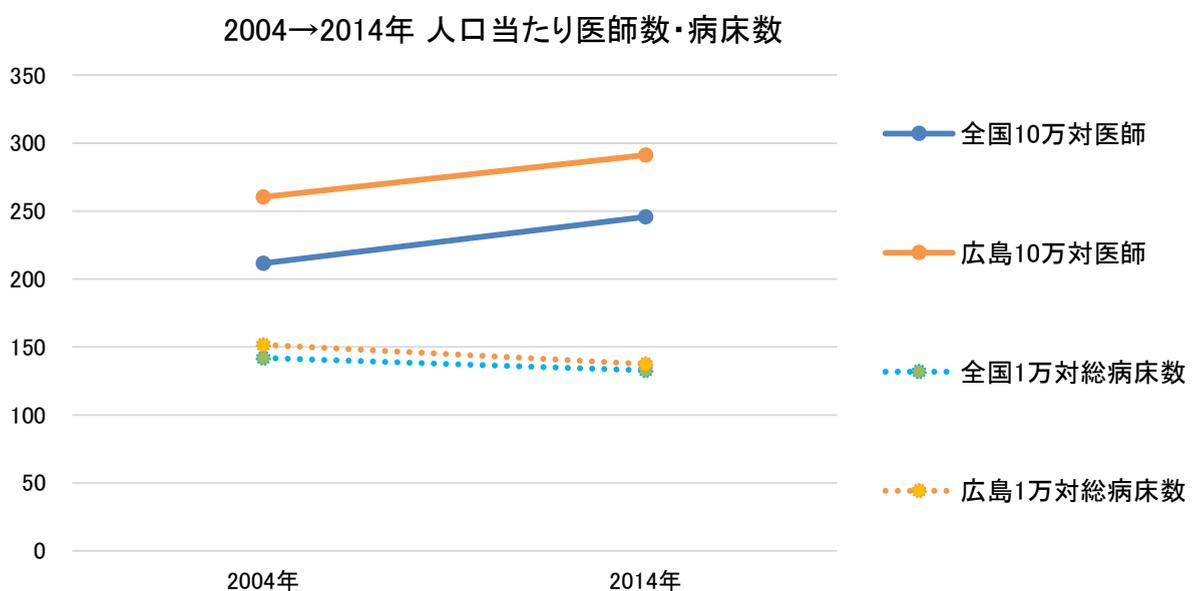
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が103(人口10万人当たり7.7病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2014年に98(人口10万人当たり7.2病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が1330(人口10万人当たり100診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2014年に1342(人口10万人当たり99診療所(全国平均79)偏差値60)と、12診療所が増加した。

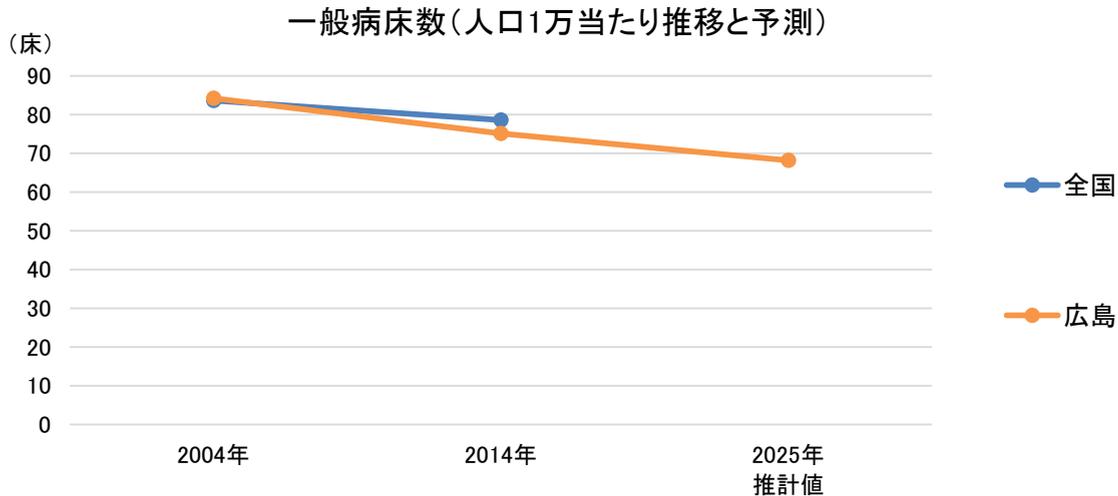
2004年の総病床数が20223床(人口1万人当たり152(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に18664床(人口1万人当たり137(全国平均133)偏差値51)と、1559床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が3472人(人口10万人当たり260人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に3952人(人口10万人当たり291人(全国平均246人)偏差値55)と、480人の増加、率にして14%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



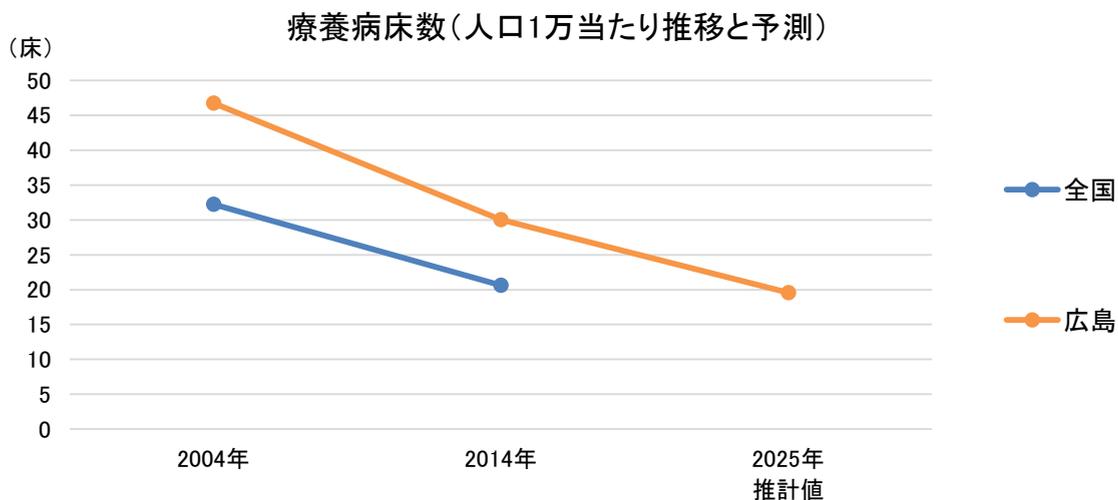
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11237床(人口1万人当たり84(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に10200床(人口1万人当たり75(全国平均79)偏差値49)と、1037床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9059床(2025年の推計人口1万人当たり68)になることが予想される。



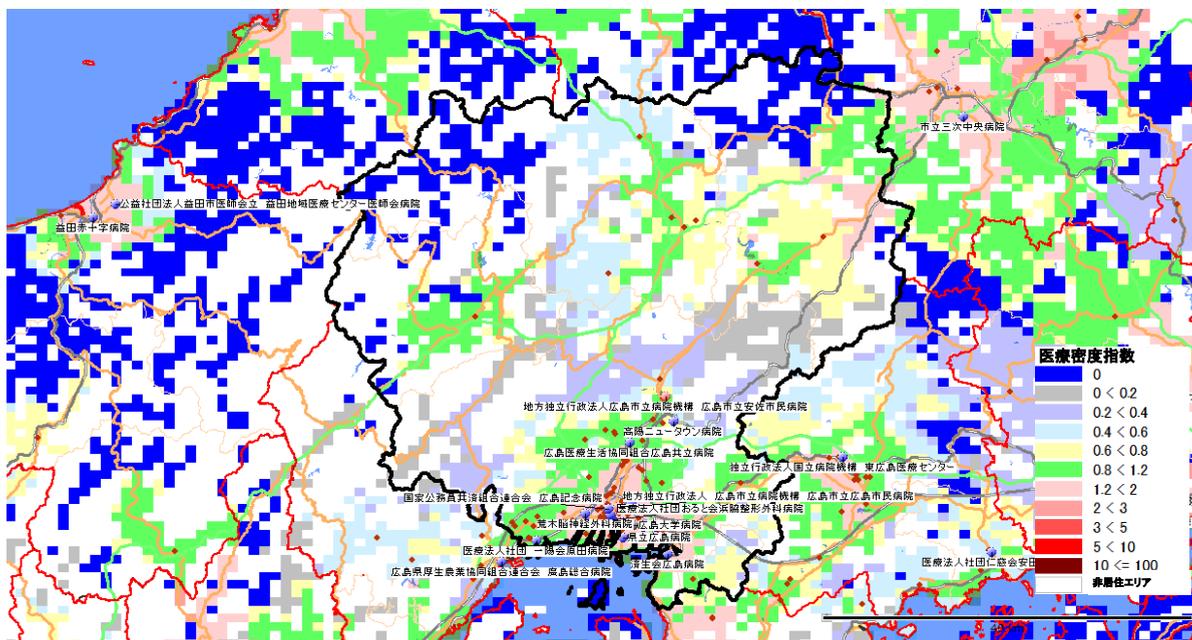
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が5055床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に4832床(75歳以上1000人当たり30(全国平均21)偏差値58)と、223床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4587床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

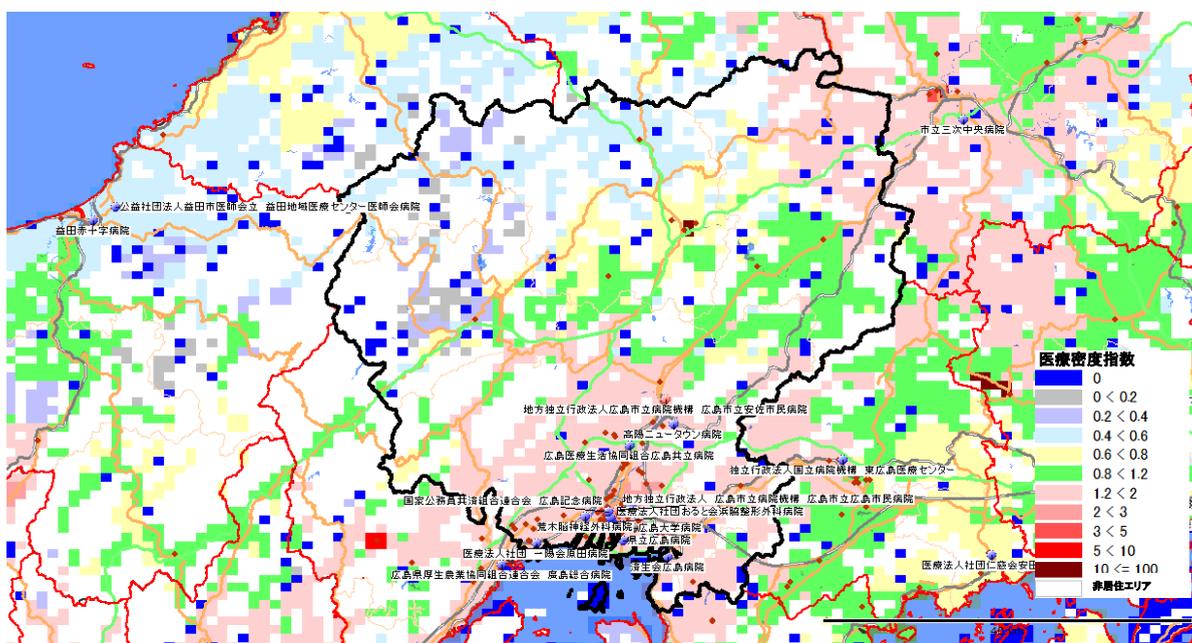


3. 医療密度⁵

図表34-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-1-2 慢性期医療密度指数マップ

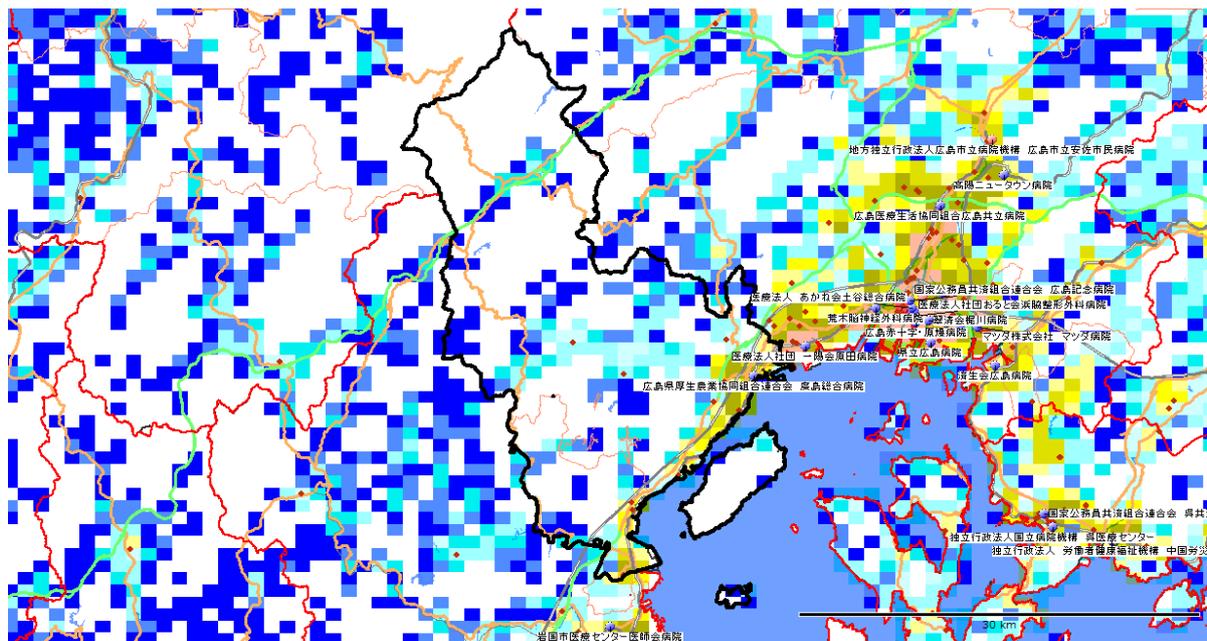


ひろしまにし 34-2. 広島西医療圏

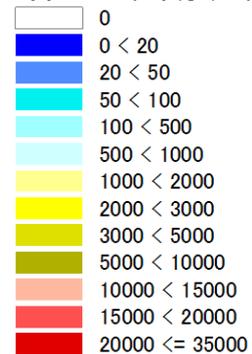
構成市区町村¹⁰ [大竹市](#)

[廿日市市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(広島西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島西(大竹市)は、総人口約139千人(2015年推計)、面積568km²、人口密度は245人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島西の総人口は2025年に129千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に108千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+35%)、2040年には28千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島西の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値60)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費は高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島西の一人当たり急性期医療密度指数²は0.76、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.44で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が51(病院医師数51、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。広島西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の広島総合病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値62と多く、回復期病床数は偏差値66と非常に多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1932人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1185床(偏差値50)、高齢者住宅等が747床(偏差値49)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1501人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム41、介護療養型医療施設66、有料老人ホーム47、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値70と非常に多い。介護職員(在宅)の合計は、216人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-45%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島西医療圏の総人口は、2005年145809人が、2015年に139083人と5%減少し、2025年の人口が128917人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

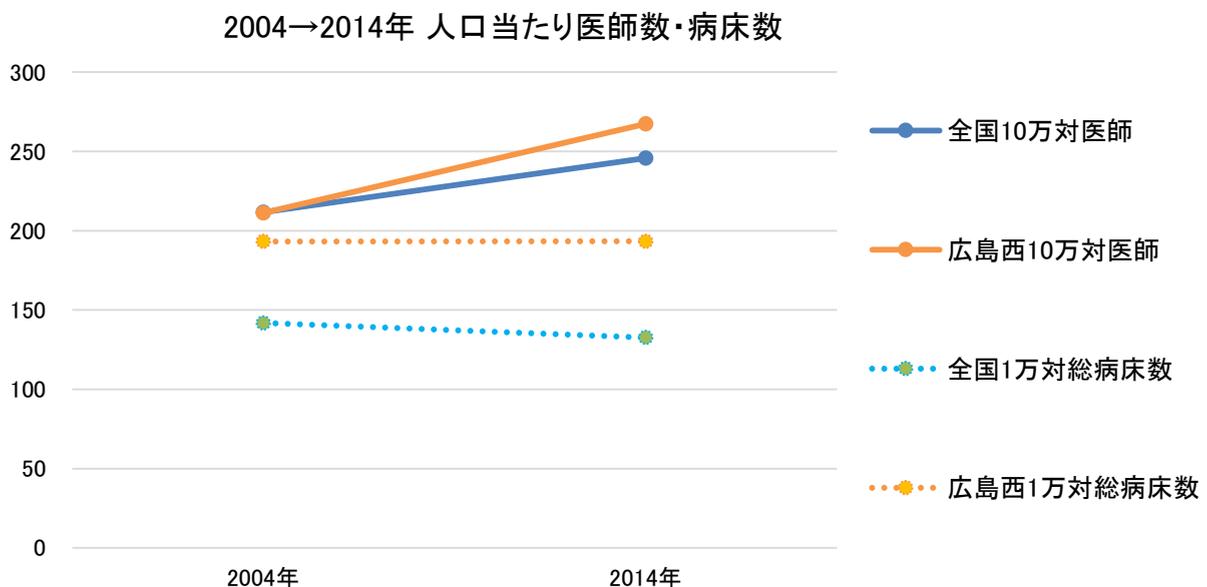
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が14(人口10万人当たり9.6病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に13(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が127(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に124(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が2817床(人口1万人当たり193(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に2689床(人口1万人当たり193(全国平均133)偏差値61)と、128床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

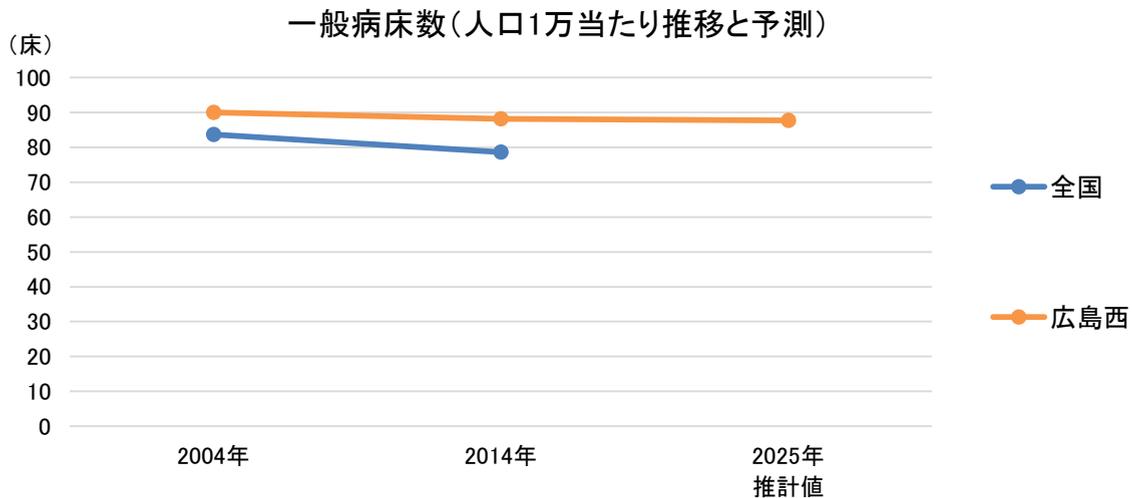
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が308人(人口10万人当たり211人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に372人(人口10万人当たり267人(全国平均246人)偏差値52)と、64人の増加、率にして21%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



34. 広島県（2016年版）

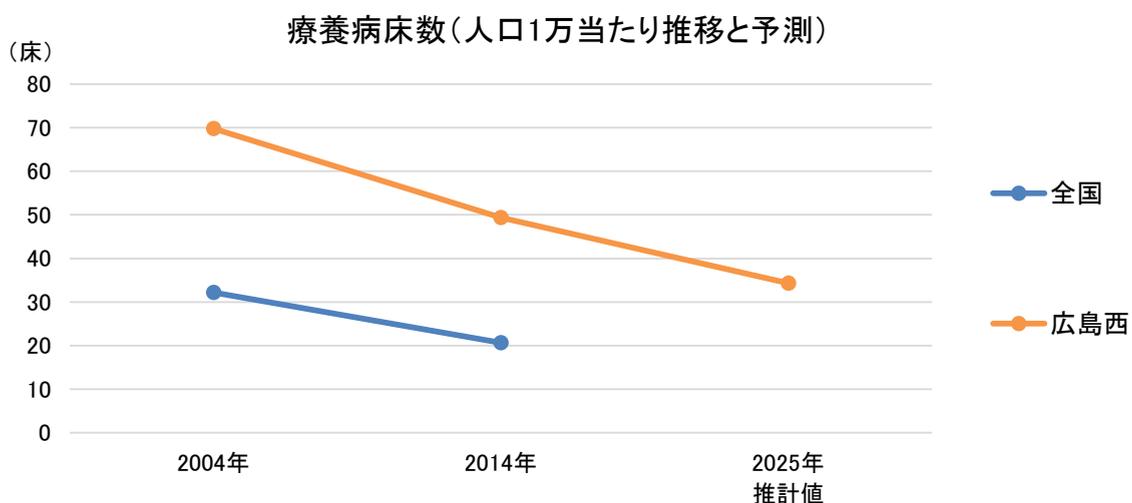
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1312床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に1226床(人口1万人当たり88(全国平均79)偏差値54)と、86床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1131床(2025年の推計人口1万人当たり88)になることが予想される。



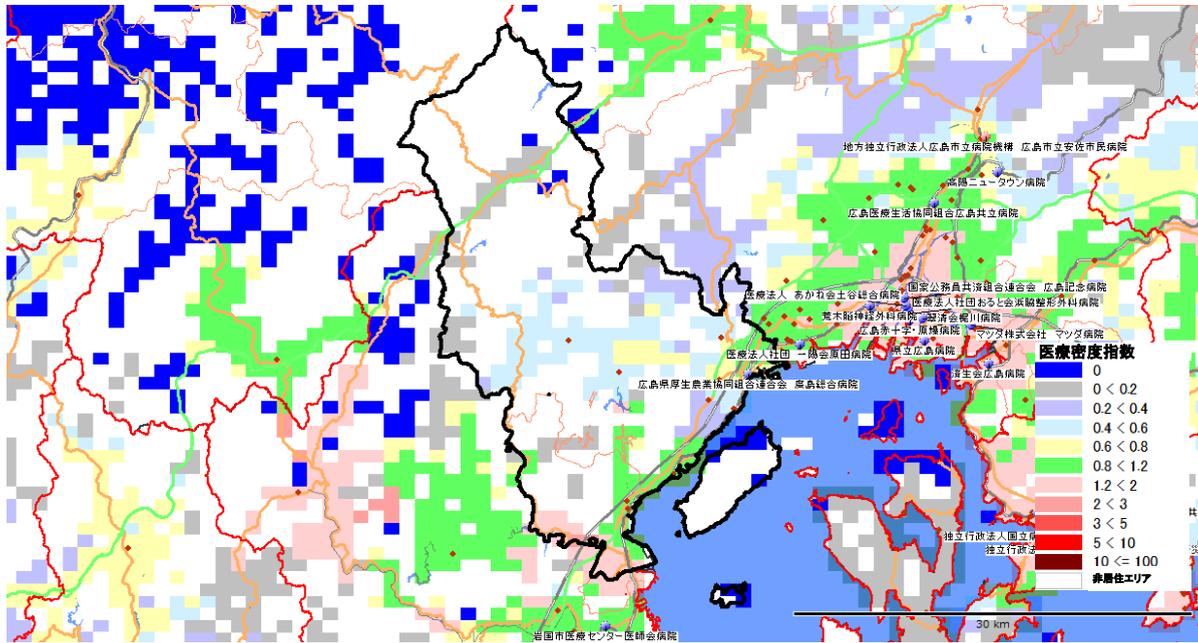
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1029床(75歳以上1000人当たり70(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に987床(75歳以上1000人当たり49(全国平均21)偏差値75)と、42床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には941床(2025年の推計75歳以上1000人当たり34)になることが予想される。

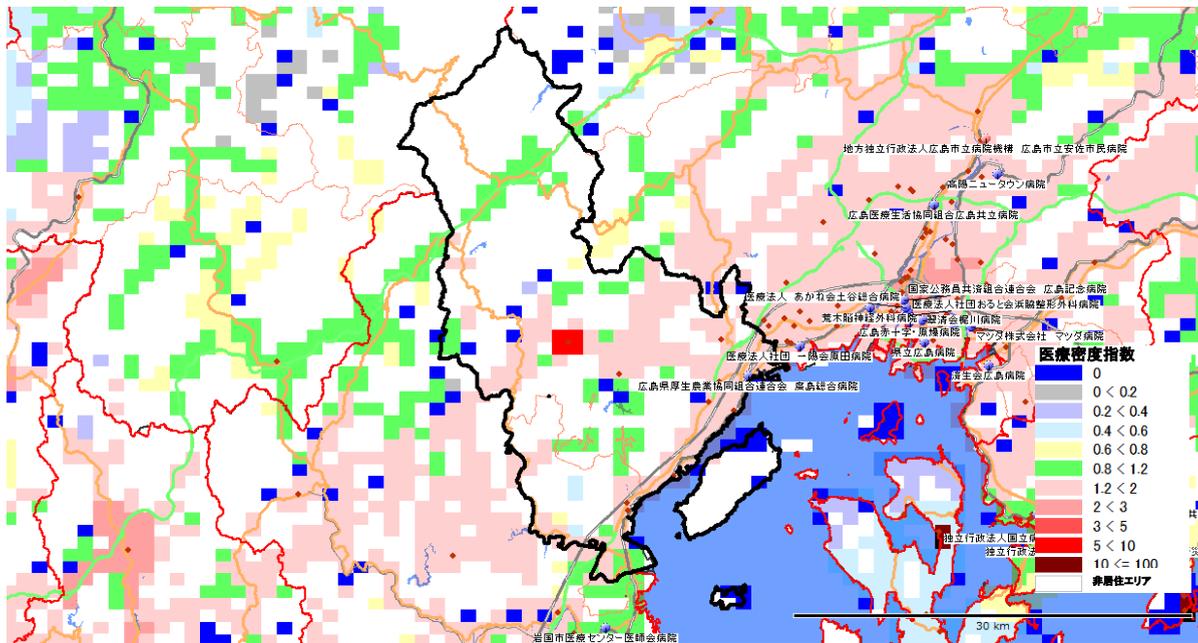


3. 医療密度⁵

図表34-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-2-2 慢性期医療密度指数マップ

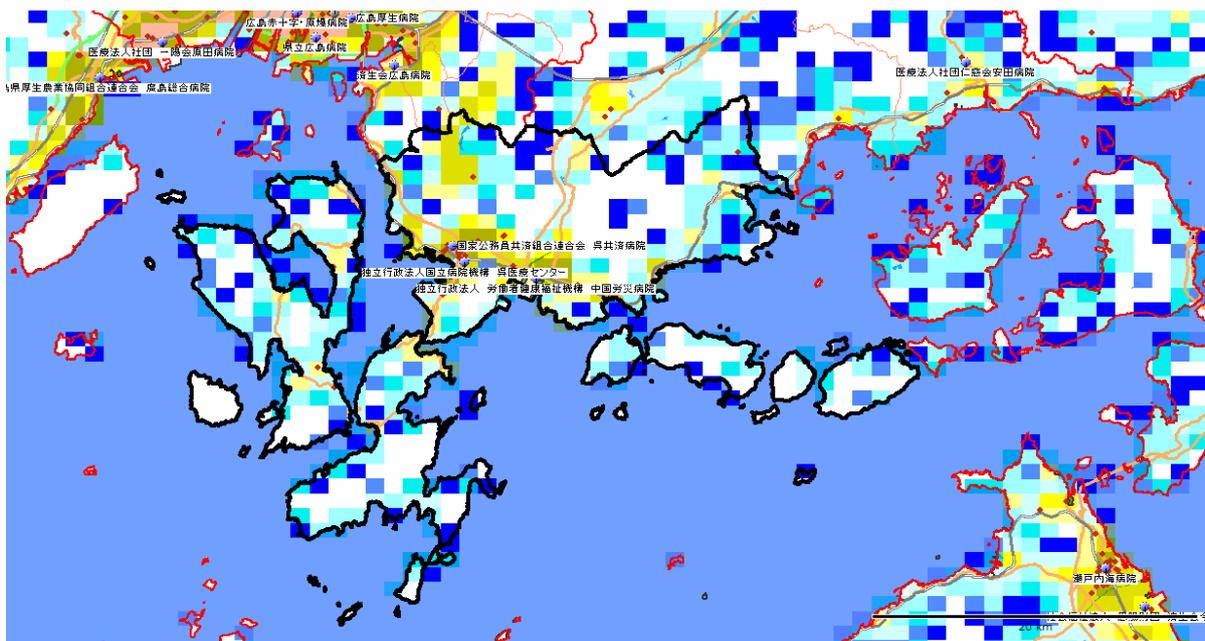


34-3. くれ 呉医療圏

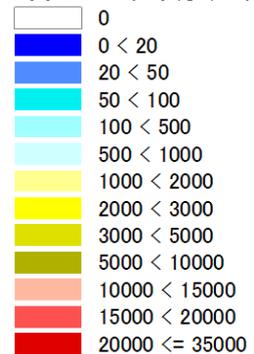
構成市区町村¹⁰ [呉市](#)

[江田島市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(呉医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 呉(呉市)は、総人口約252千人(2015年推計)、面積455km²、人口密度は554人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 呉の総人口は2025年に222千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に176千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて51千人へと増加し(2015年比+19%)、2040年には39千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 呉の一人当たり医療費(国保)は421千円(偏差値75)、介護給付費は251千円(偏差値49)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 呉の一人当たり急性期医療密度指数²は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.24で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が57(病院医師数56、診療所医師数59)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。呉には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構呉医療センター(Ⅱ群・救命)、中国労災病院(Ⅲ群)、1000例以上の呉共済病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値54とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 呉の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4119人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3061床(偏差値59)、高齢者住宅等が1058床(偏差値40)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3798人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設65、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム40、軽費ホーム52、グループホーム43、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、513人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+12%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

呉医療圏の総人口は、2005年280942人が、2015年に251854人と10%減少し、2025年の人口が221612人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

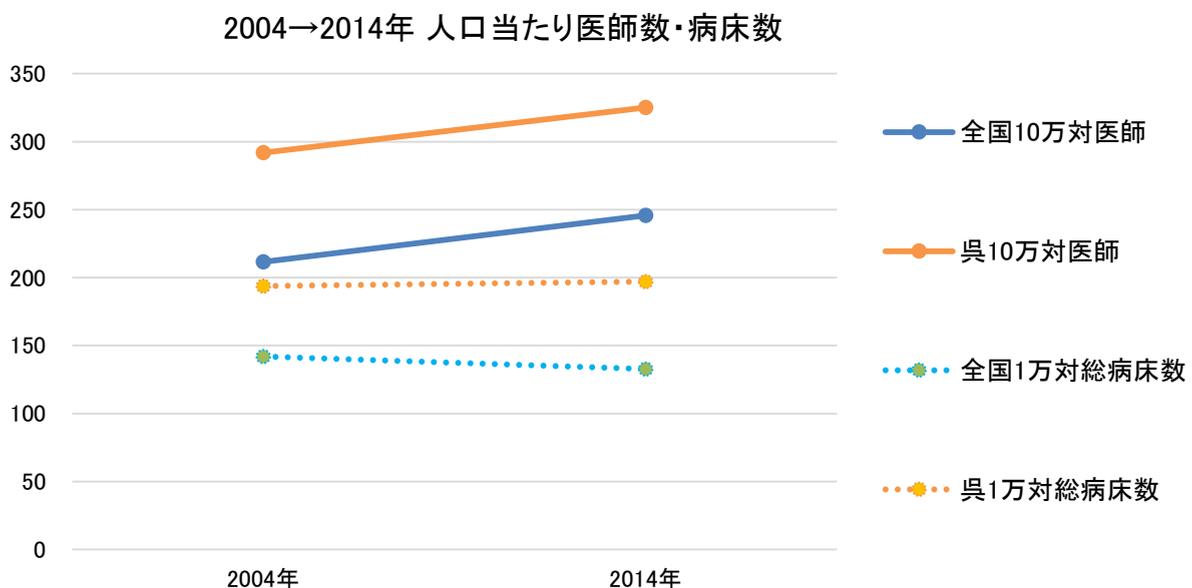
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が35(人口10万人当たり12.5病院(全国平均7.1)偏差値64)であったが、2014年に30(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が297(人口10万人当たり106診療所(全国平均76)偏差値65)であったが、2014年に264(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、33診療所が減少した。

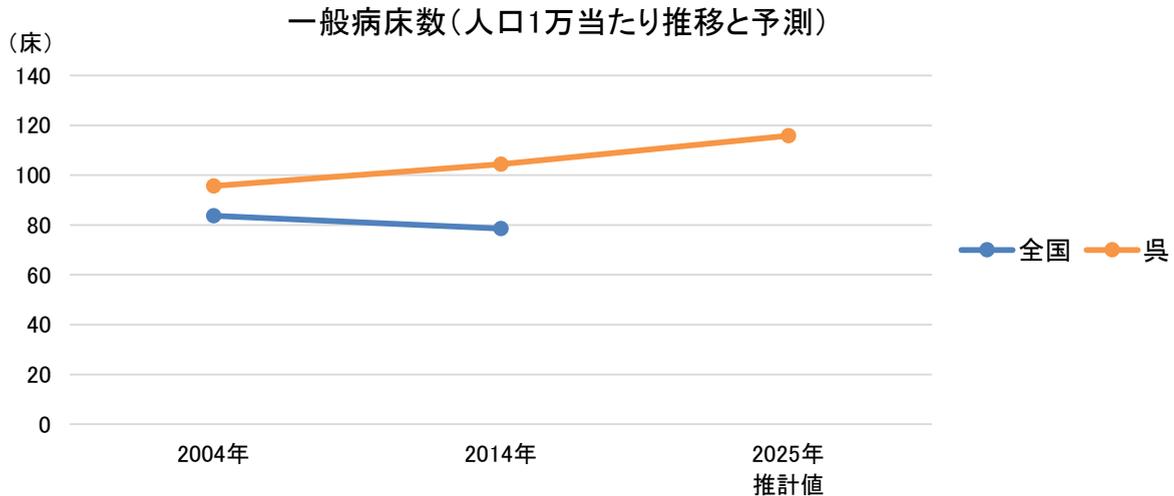
2004年の総病床数が5444床(人口1万人当たり194(全国平均142)偏差値59)であったが、2014年に4963床(人口1万人当たり197(全国平均133)偏差値61)と、481床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が820人(人口10万人当たり292人(全国平均212人)偏差値60)であったが、2014年に819人(人口10万人当たり325人(全国平均246人)偏差値58)と、1人の減少、率にして1%未満の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



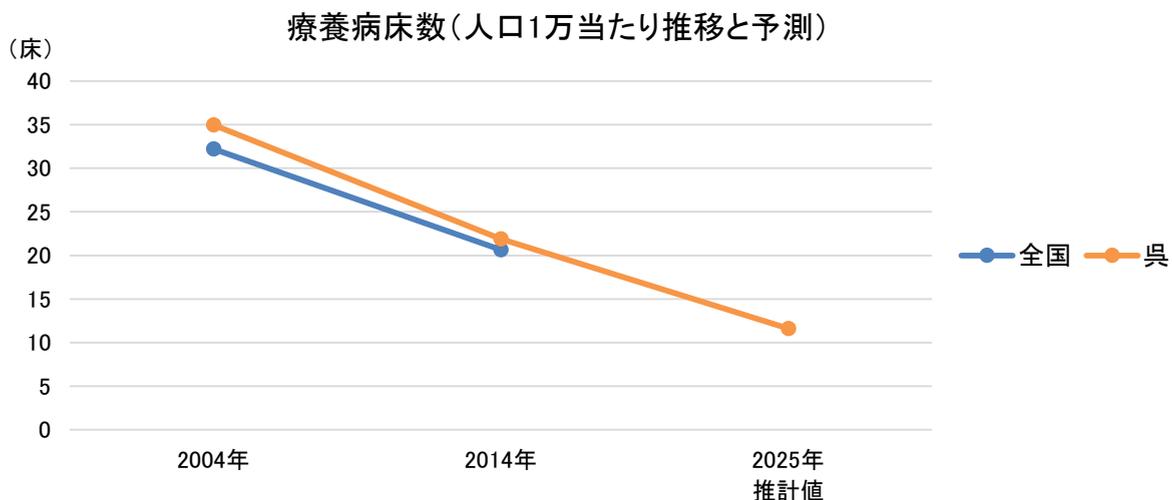
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2688床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に2631床(人口1万人当たり104(全国平均79)偏差値59)と、57床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2568床(2025年の推計人口1万人当たり116)になることが予想される。



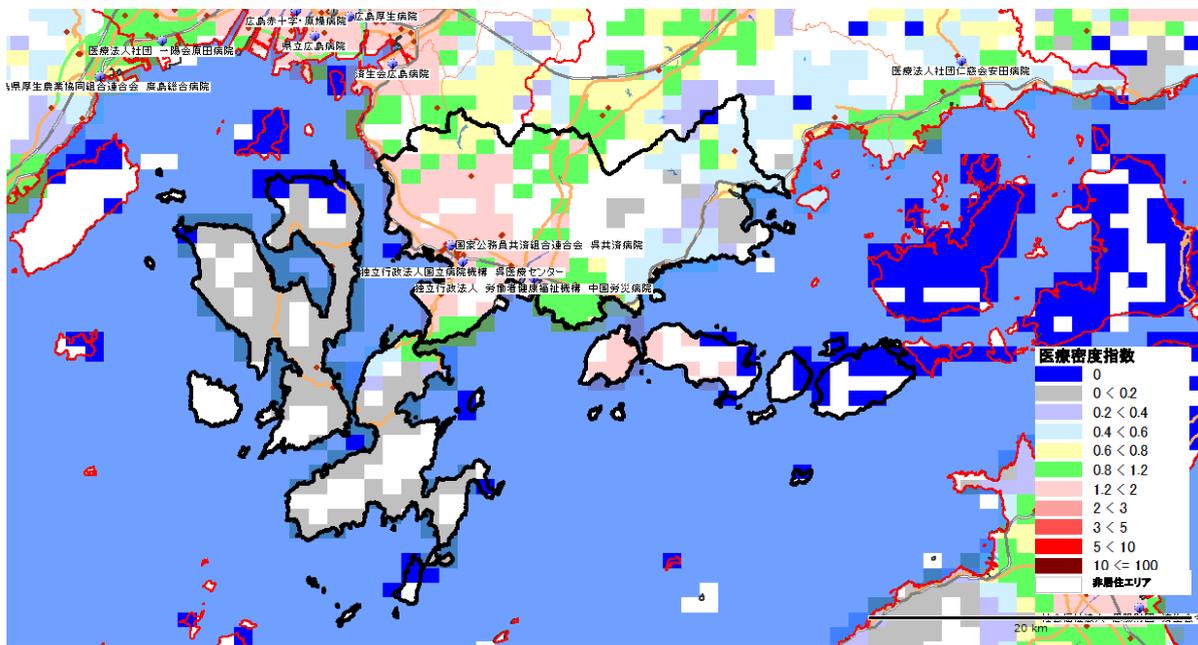
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1258床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に939床(75歳以上1000人当たり22(全国平均21)偏差値51)と、319床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には588床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

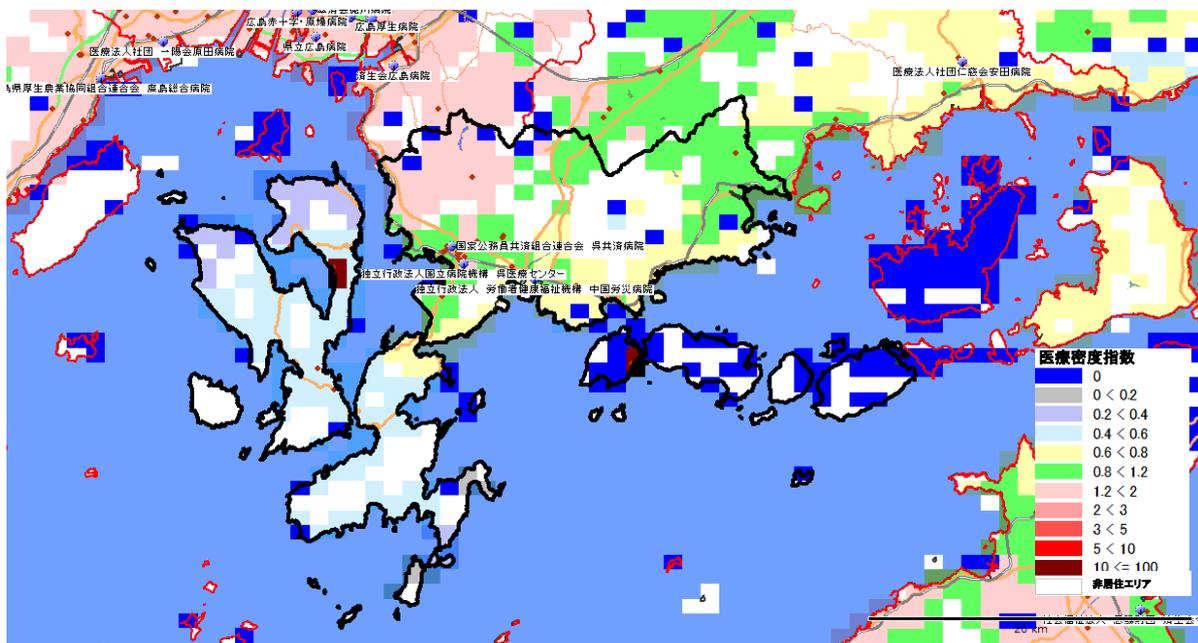


3. 医療密度⁵

図表34-3-1 急性期医療密度指数マップ



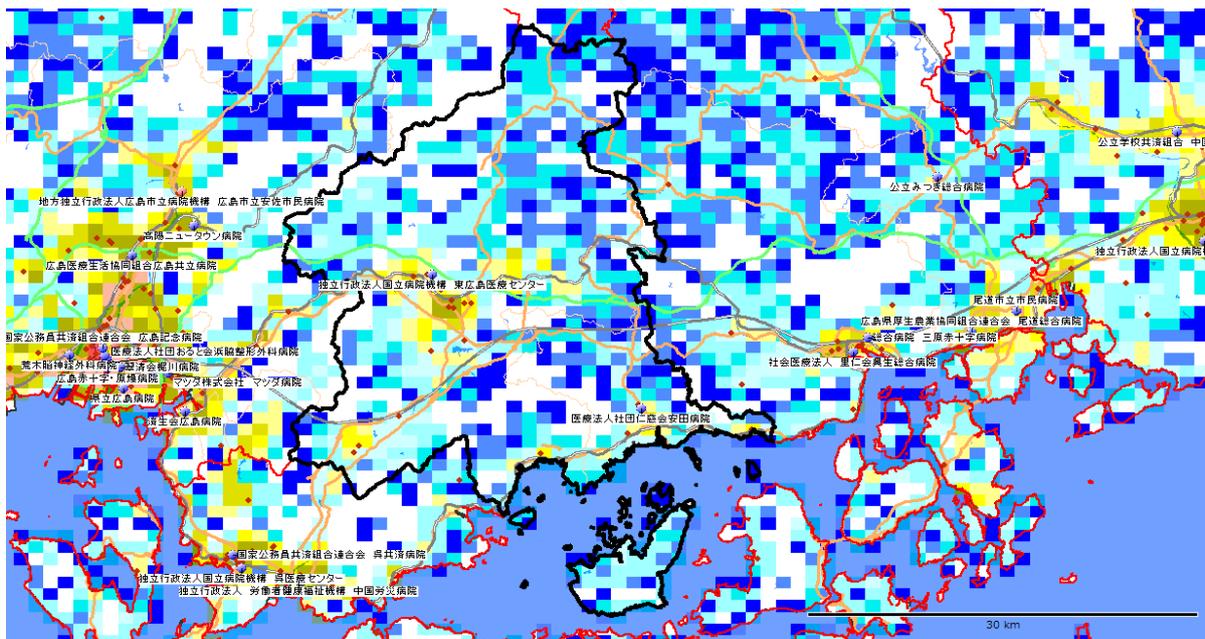
図表34-3-2 慢性期医療密度指数マップ



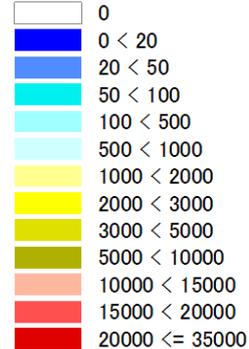
34-4. ひろしまちゅうおう 広島中央医療圏

構成市区町村¹⁰ [竹原市](#) [東広島市](#) [大崎上島町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(広島中央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 広島中央(竹原市)は、総人口約227千人(2015年推計)、面積797km²、人口密度は285人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 広島中央の総人口は2025年に223千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に208千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には38千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 広島中央の一人当たり医療費(国保)は361千円(偏差値60)、介護給付費は259千円(偏差値51)であり、医療費は高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 広島中央の一人当たり急性期医療密度指数²は0.83、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.32で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は33と非常に少ない。広島中央には、年間全身麻酔件数が1000例以上の国立病院機構東広島医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は53と療養病床数はやや多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値43と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 広島中央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3021人(75歳以上1000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1978床(偏差値61)、高齢者住宅等が1043床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2858人(75歳以上1000人当たりの偏差値76)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設60、有料老人ホーム46、軽費ホーム49、グループホーム44、サ高住61である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値68と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、227人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

広島中央医療圏の総人口は、2005年224323人が、2015年に227292人と1%増加し、2025年の人口が222702人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

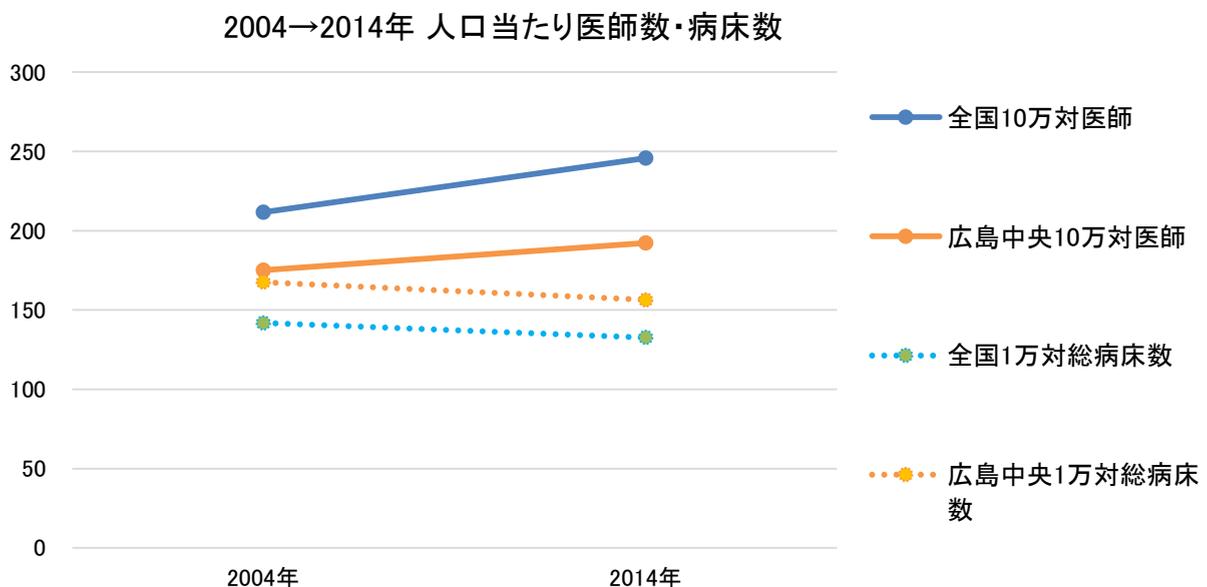
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり9.4病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に20(人口10万人当たり8.8病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が166(人口10万人当たり74診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に171(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、5診療所が増加した。

2004年の総病床数が3760床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に3555床(人口1万人当たり156(全国平均133)偏差値54)と、205床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

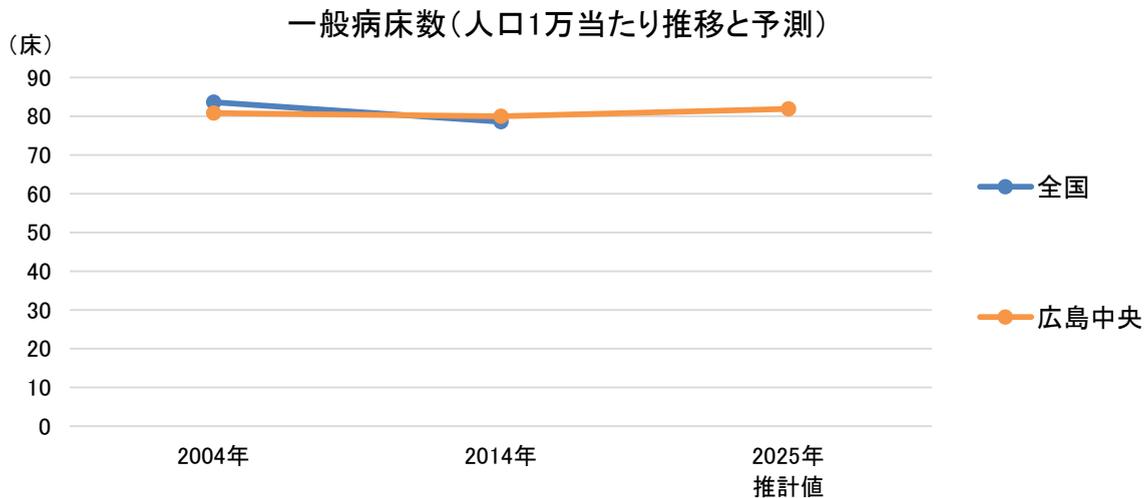
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が393人(人口10万人当たり175人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に437人(人口10万人当たり192人(全国平均246人)偏差値45)と、44人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



34. 広島県（2016年版）

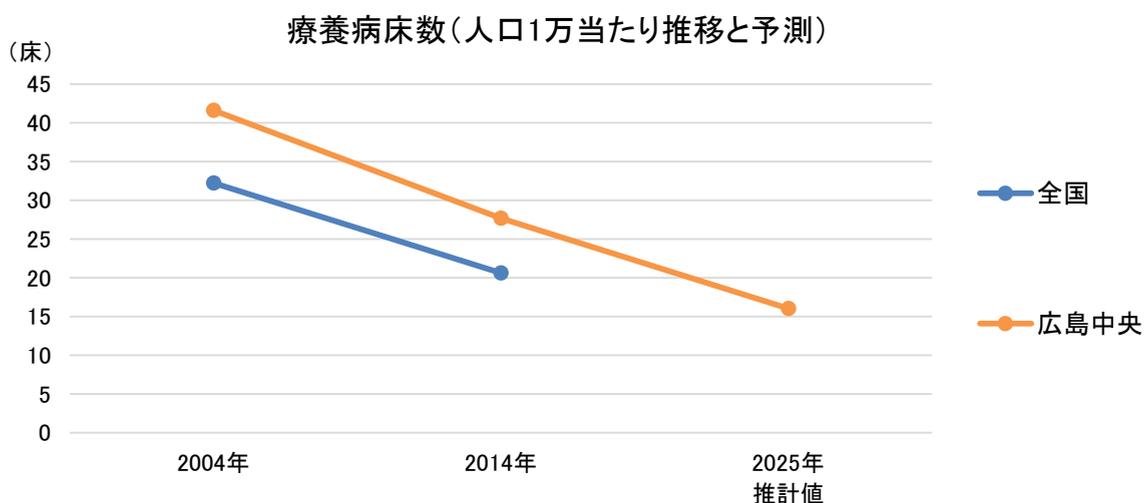
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1814床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1819床(人口1万人当たり80(全国平均79)偏差値51)と、5床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1825床(2025年の推計人口1万人当たり82)になることが予想される。



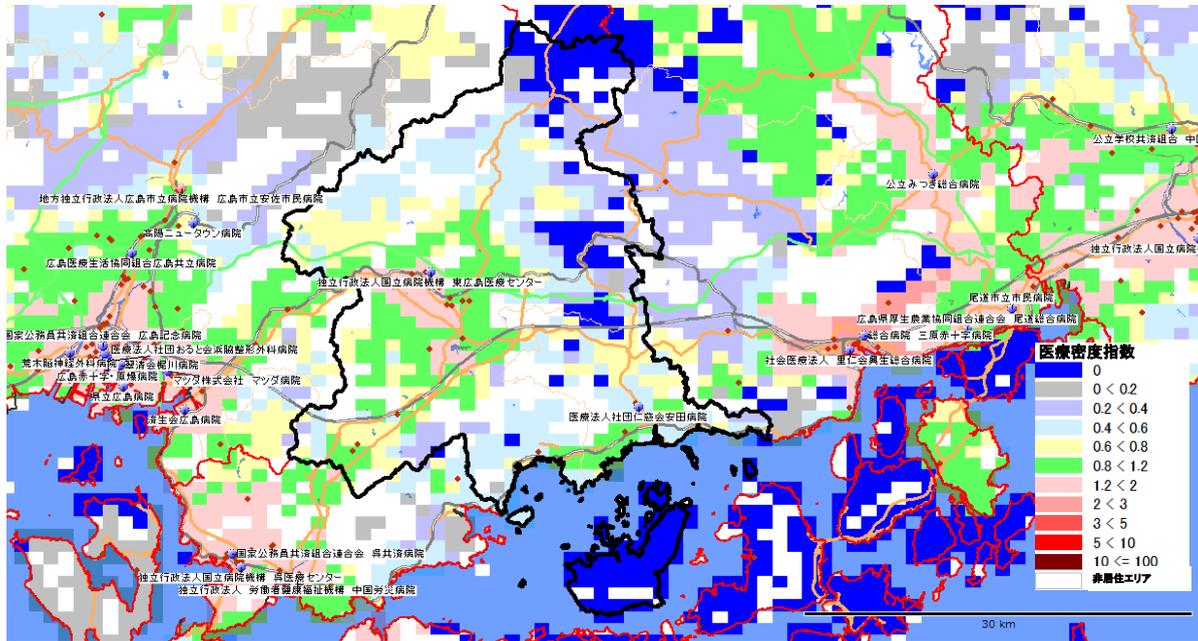
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が888床(75歳以上1000人当たり42(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に744床(75歳以上1000人当たり28(全国平均21)偏差値56)と、144床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には586床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

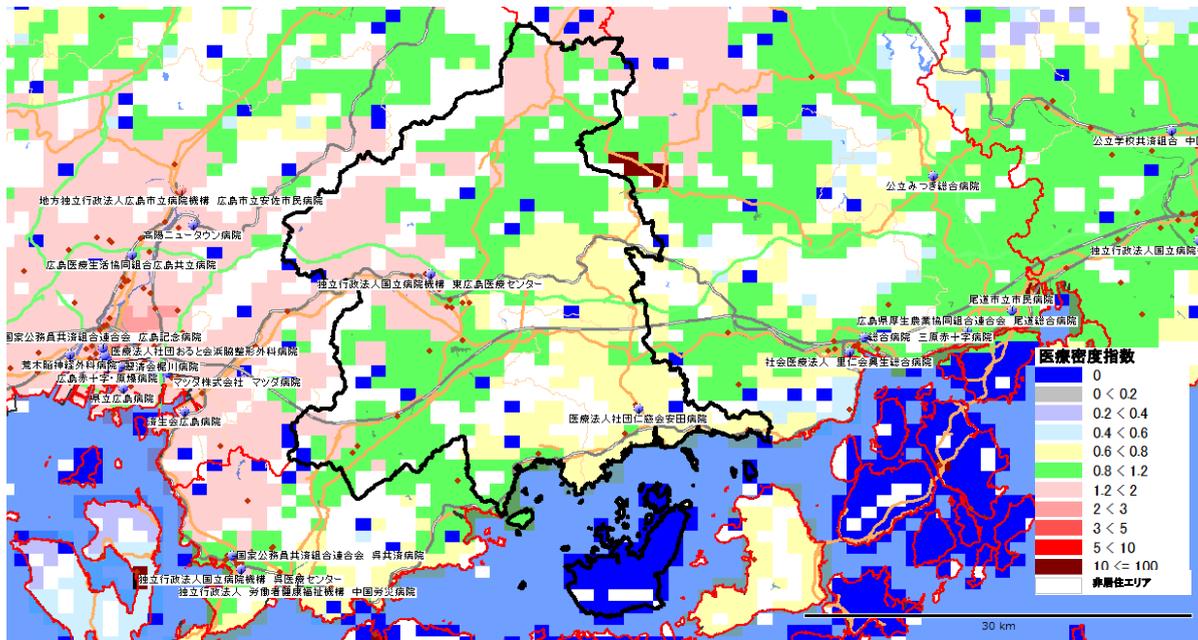


3. 医療密度⁵

図表34-4-1 急性期医療密度指数マップ



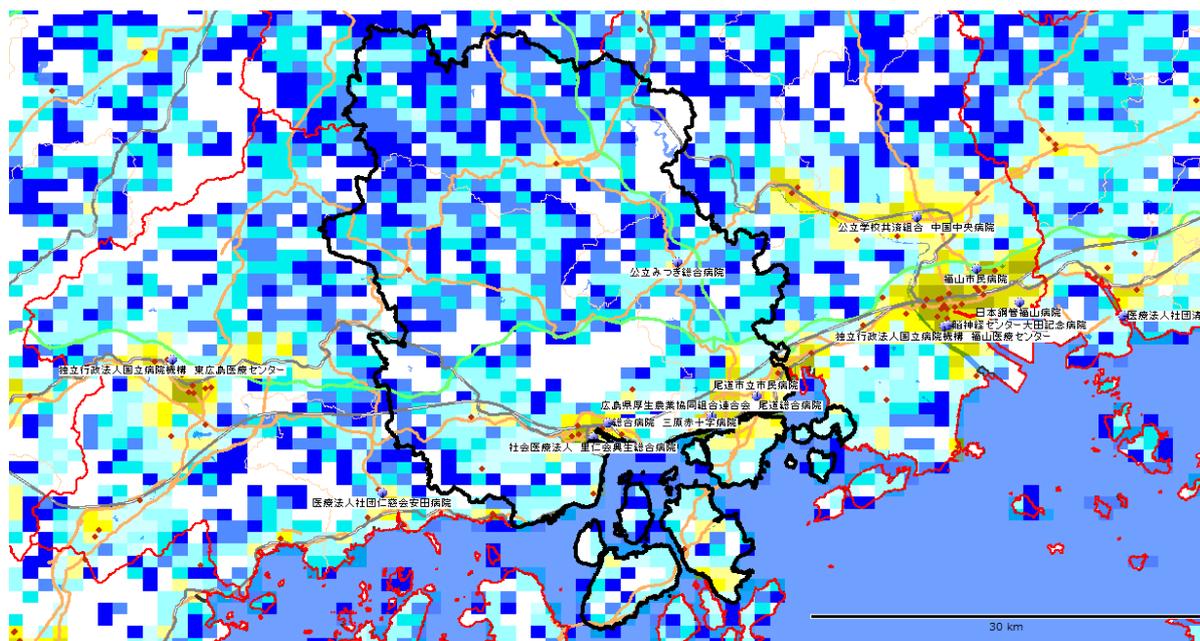
図表34-4-2 慢性期医療密度指数マップ



34-5. びさん 尾三医療圏

構成市区町村¹⁰ [三原市](#) [尾道市](#) [世羅町](#)

人口分布¹（1km²区画単位）



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(尾三医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 尾三(三原市)は、総人口約252千人(2015年推計)、面積1034km²、人口密度は243人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 尾三の総人口は2025年に226千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に186千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて52千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 尾三の一人当たり医療費(国保)は387千円(偏差値67)、介護給付費は293千円(偏差値61)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 尾三の一人当たり急性期医療密度指数²は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。尾三には、年間全身麻酔件数が2000例以上の尾道総合病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の尾道市立市民病院(Ⅲ群)、500例以上の興生総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値60と多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 尾三の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4576人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3031床(偏差値56)、高齢者住宅等が1545床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3975人(75歳以上1000人当たりの偏差値61)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設62、有料老人ホーム44、軽費ホーム51、グループホーム49、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値63と多く、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、419人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+4%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

尾三医療圏の総人口は、2005年273287人が、2015年に251646人と8%減少し、2025年の人口が226245人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

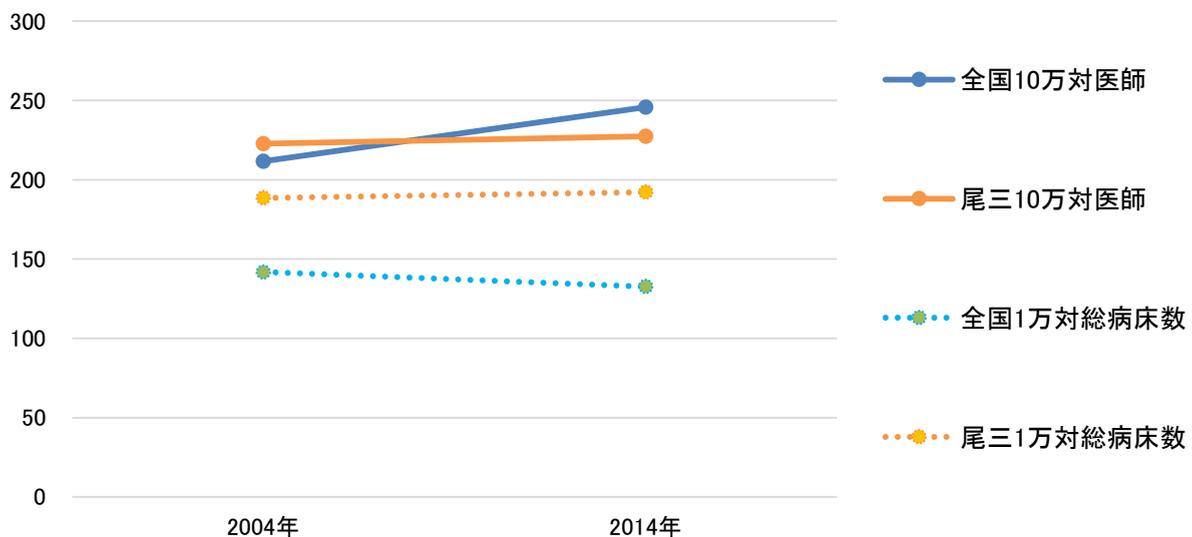
2004年の病院数が26(人口10万人当たり9.5病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に25(人口10万人当たり9.9病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が239(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に215(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、24診療所が減少した。

2004年の総病床数が5153床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に4838床(人口1万人当たり192(全国平均133)偏差値61)と、315床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

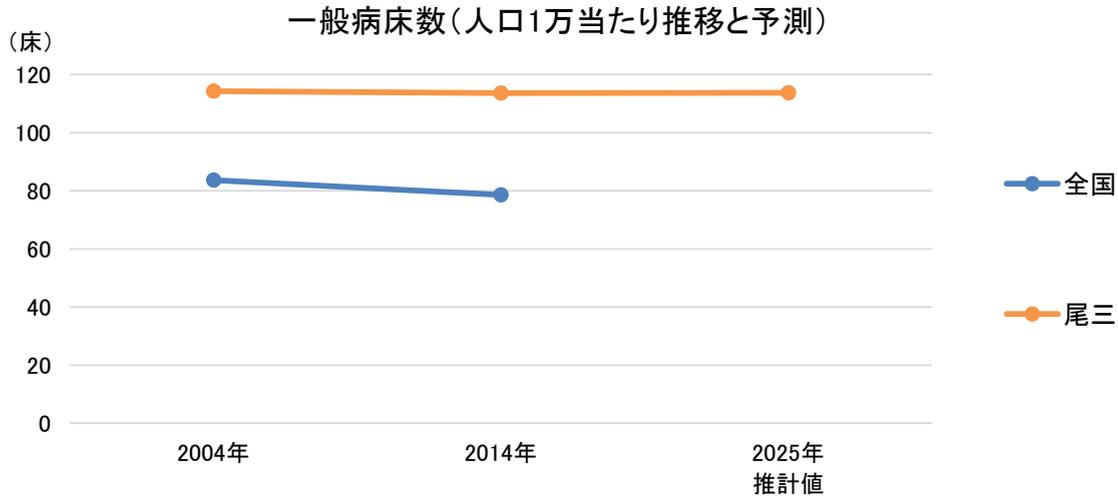
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が609人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に572人(人口10万人当たり227人(全国平均246人)偏差値48)と、37人の減少、率にして6%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



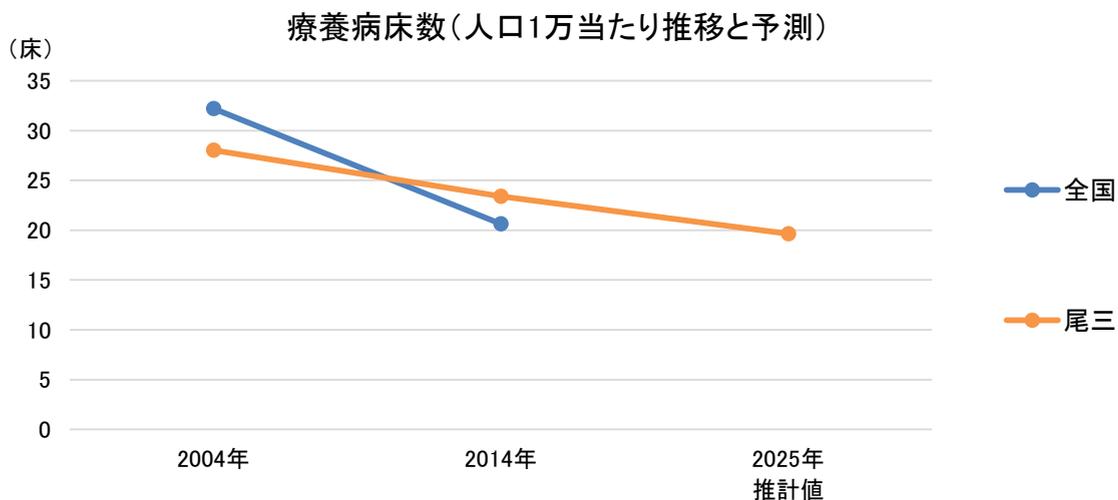
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3122床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に2860床(人口1万人当たり114(全国平均79)偏差値63)と、262床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2572床(2025年の推計人口1万人当たり114)になることが予想される。



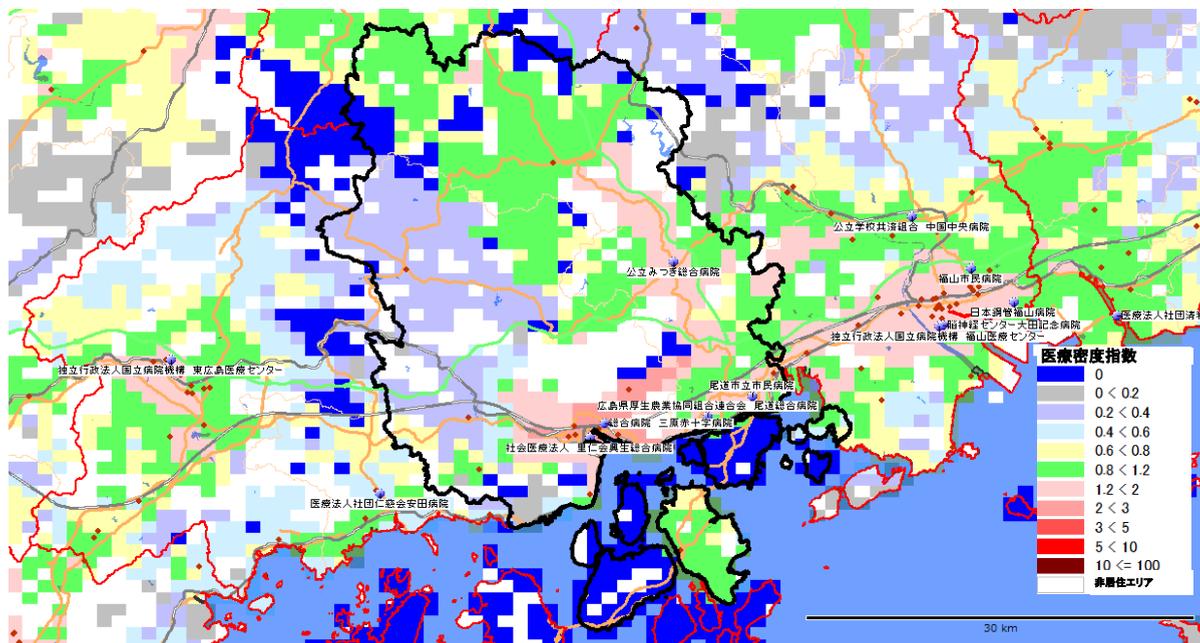
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1070床(75歳以上1000人当たり28(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1048床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、22床の減少、率にして2%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1024床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

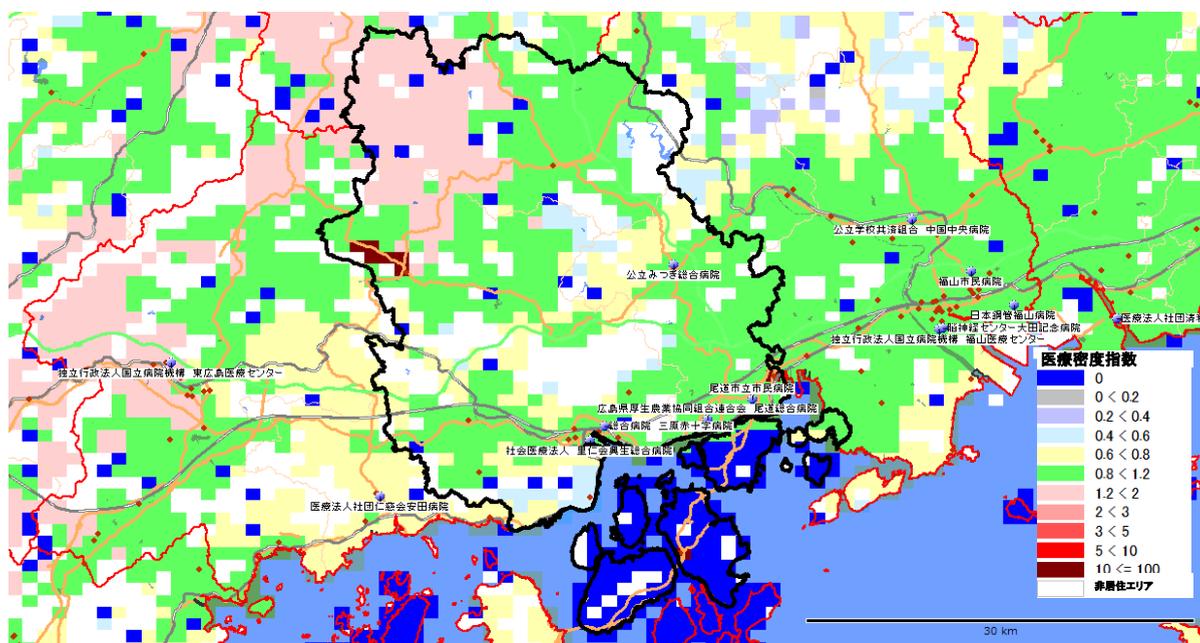


3. 医療密度⁵

図表34-5-1 急性期医療密度指数マップ



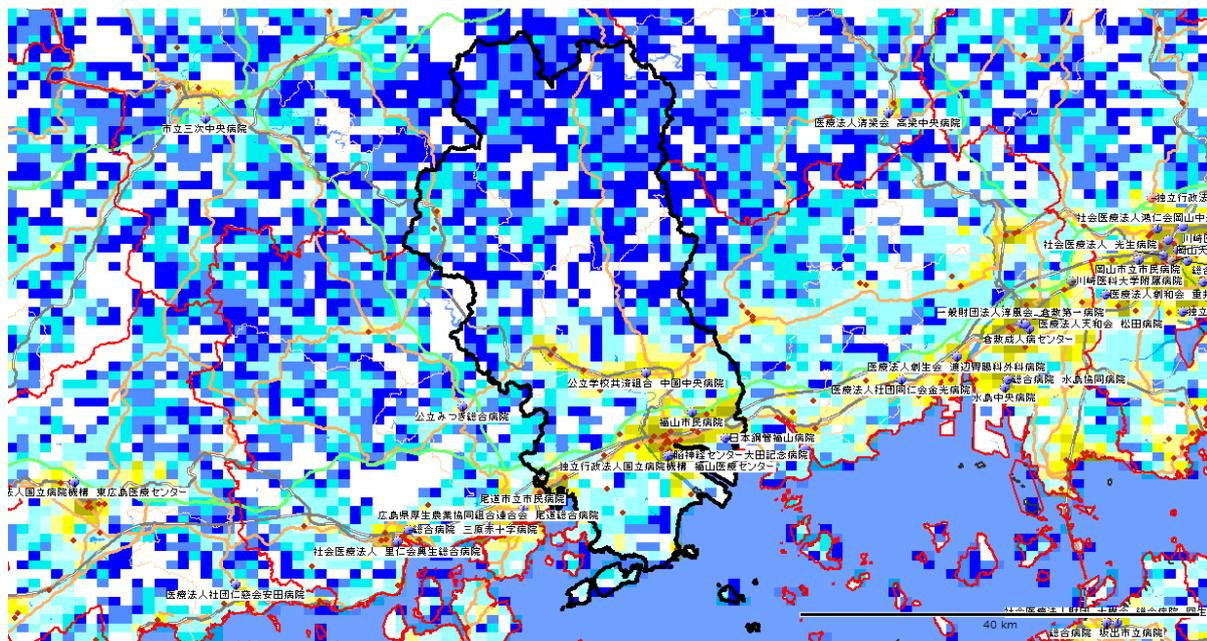
図表34-5-2 慢性期医療密度指数マップ



34-6. ふくやま ふちゅう 福山・府中医療圏

構成市区町村¹⁰ [福山市](#) [府中市](#) [神石高原町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（福山・府中医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 福山・府中(福山市)は、総人口約507千人(2015年推計)、面積1096km²、人口密度は463人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 福山・府中の総人口は2025年に480千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に422千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の71千人が、2025年にかけて94千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には93千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 福山・府中の一人当たり医療費(国保)は344千円(偏差値56)、介護給付費は277千円(偏差値56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 福山・府中の一人当たり急性期医療密度指数²は1.06、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.04で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。福山・府中には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構福山医療センター(Ⅲ群)、福山市民病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の脳神経センター大田記念病院(Ⅲ群)、日本鋼管福山病院(Ⅲ群)、中国中央病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 福山・府中の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7869人(75歳以上1000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4103床(偏差値49)、高齢者住宅等が3766床(偏差値59)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、7690人(75歳以上1000人当たりの偏差値78)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム44、軽費ホーム50、グループホーム62、サ高住69である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値58と多く、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、715人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-22%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

福山・府中医療圏の総人口は、2005年515865人が、2015年に506757人と2%減少し、2025年の人口が479994人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

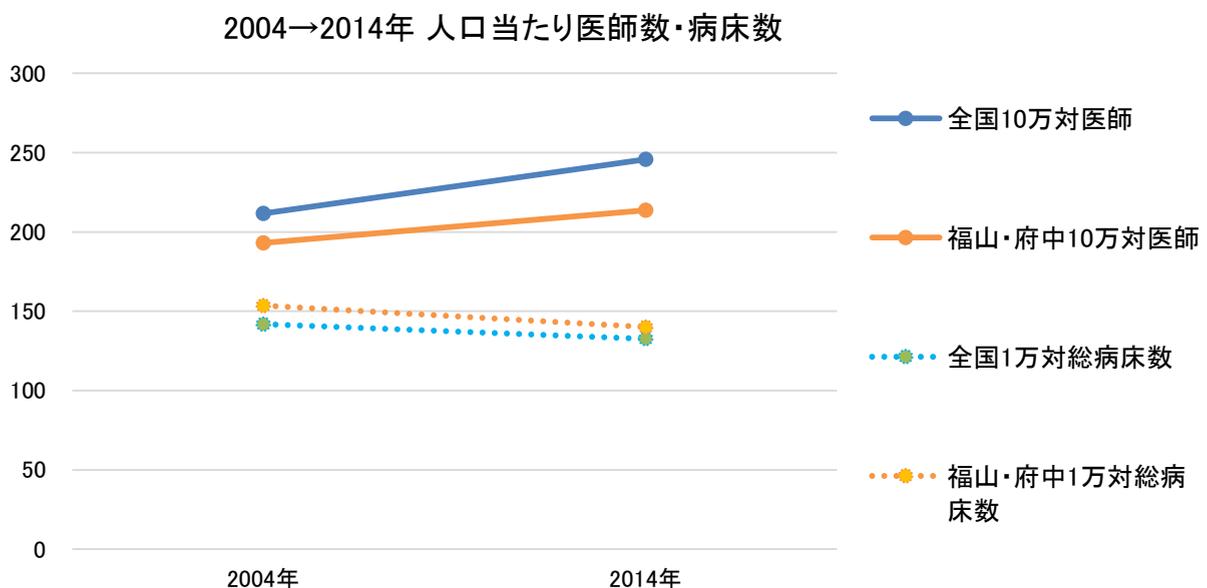
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が53(人口10万人当たり10.3病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に47(人口10万人当たり9.3病院(全国平均6.7)偏差値56)となり、10年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が358(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に379(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、21診療所が増加した。

2004年の総病床数が7920床(人口1万人当たり154(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に7097床(人口1万人当たり140(全国平均133)偏差値51)と、823床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

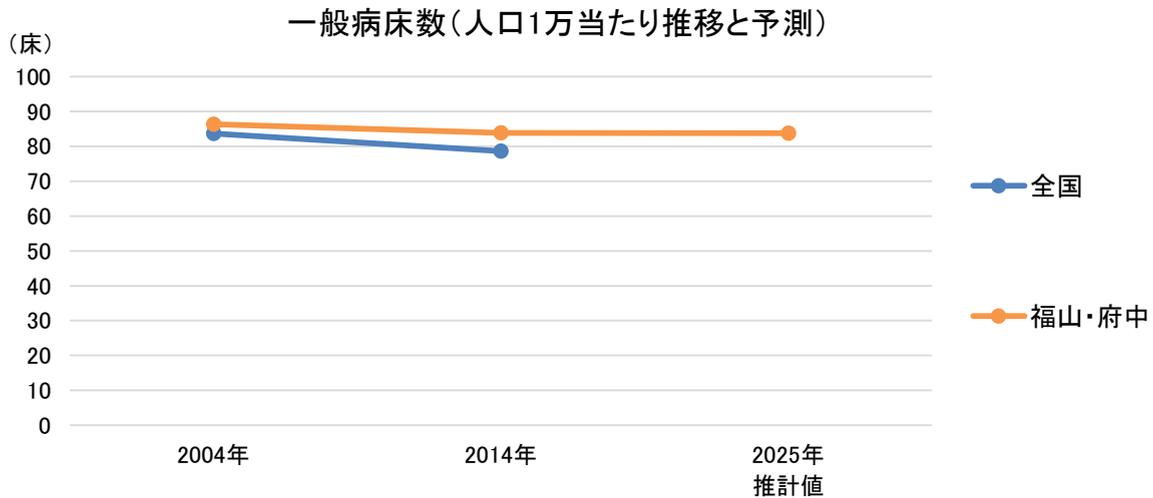
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が996人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に1083人(人口10万人当たり214人(全国平均246人)偏差値47)と、87人の増加、率にして9%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



34. 広島県（2016年版）

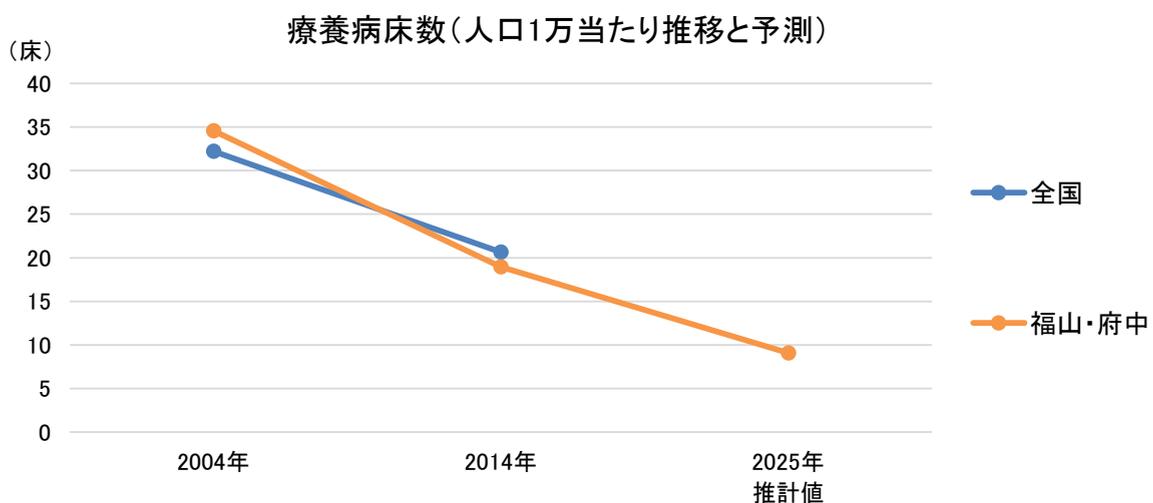
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4455床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に4248床(人口1万人当たり84(全国平均79)偏差値52)と、207床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4020床(2025年の推計人口1万人当たり84)になることが予想される。



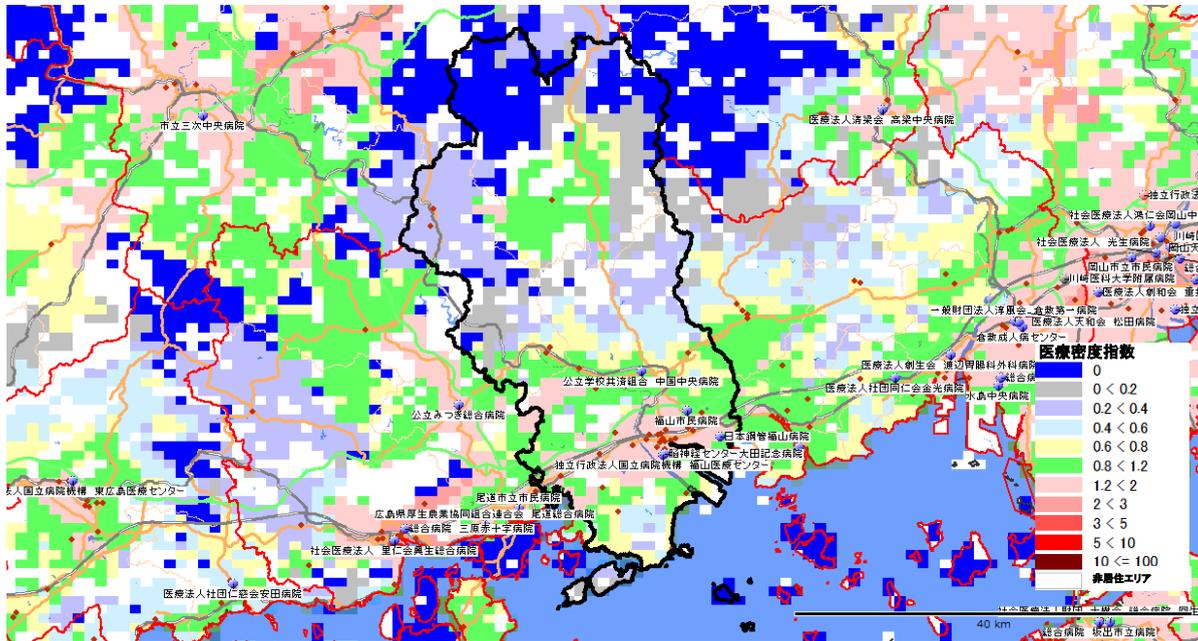
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1778床(75歳以上1000人当たり35(全国平均32)偏差値51)であったが、2014年に1339床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、439床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には856床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。

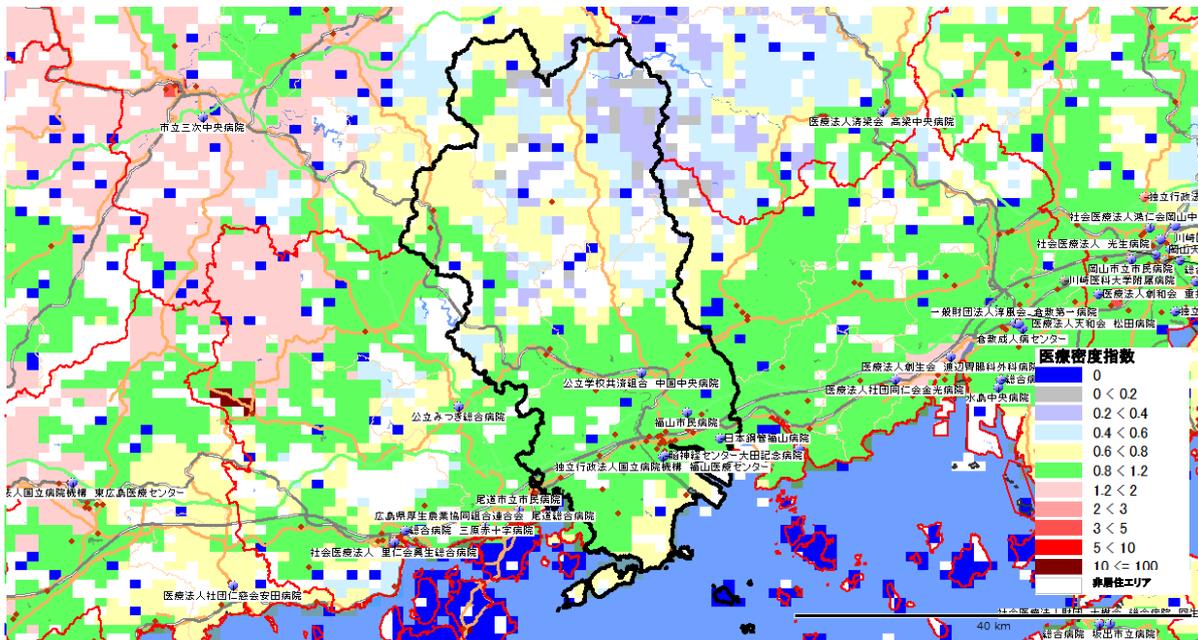


3. 医療密度⁵

図表34-6-1 急性期医療密度指数マップ



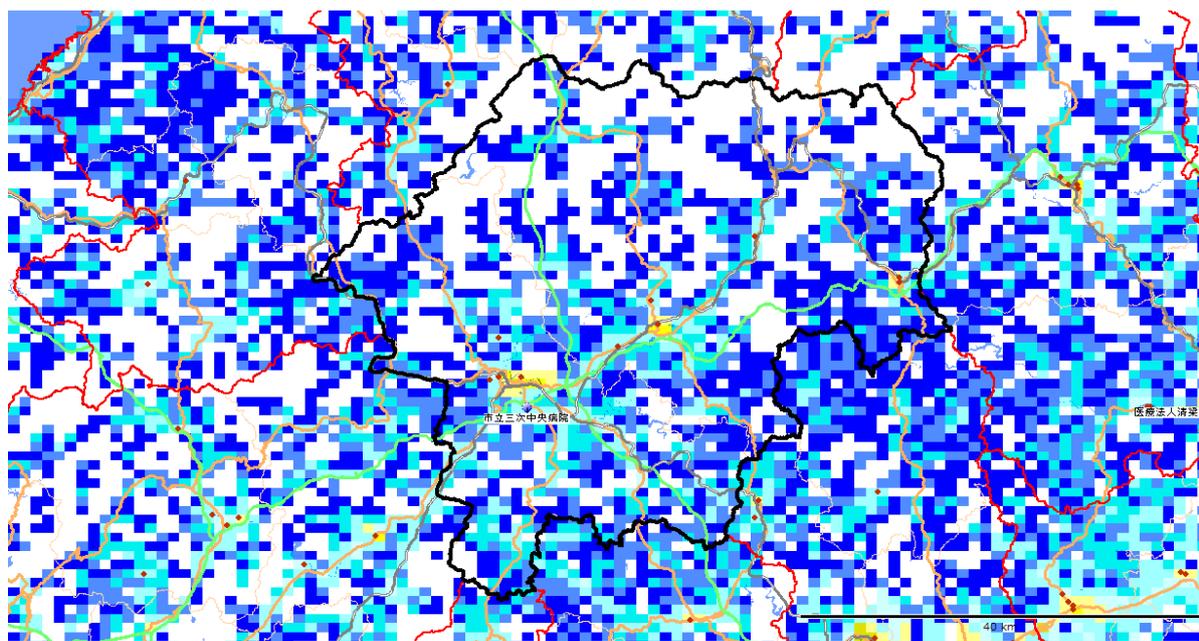
図表34-6-2 慢性期医療密度指数マップ



34-7. びほく 備北医療圏

構成市区町村¹⁰ [三次市](#) [庄原市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(備北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 備北(三次市)は、総人口約91千人(2015年推計)、面積2025km²、人口密度は45人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 備北の総人口は2025年に80千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に65千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の20千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 備北の一人当たり医療費(国保)は398千円(偏差値69)、介護給付費は350千円(偏差値76)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 備北の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.59で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数51、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は64と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は49と全国平均レベルである。備北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立三次中央病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は77と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 備北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2052人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1511床(偏差値61)、高齢者住宅等が541床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2237人(75歳以上1000人当たりの偏差値79)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム41、軽費ホーム65、グループホーム51、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、166人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

備北医療圏の総人口は、2005年102463人が、2015年に91269人と11%減少し、2025年の人口が80126人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

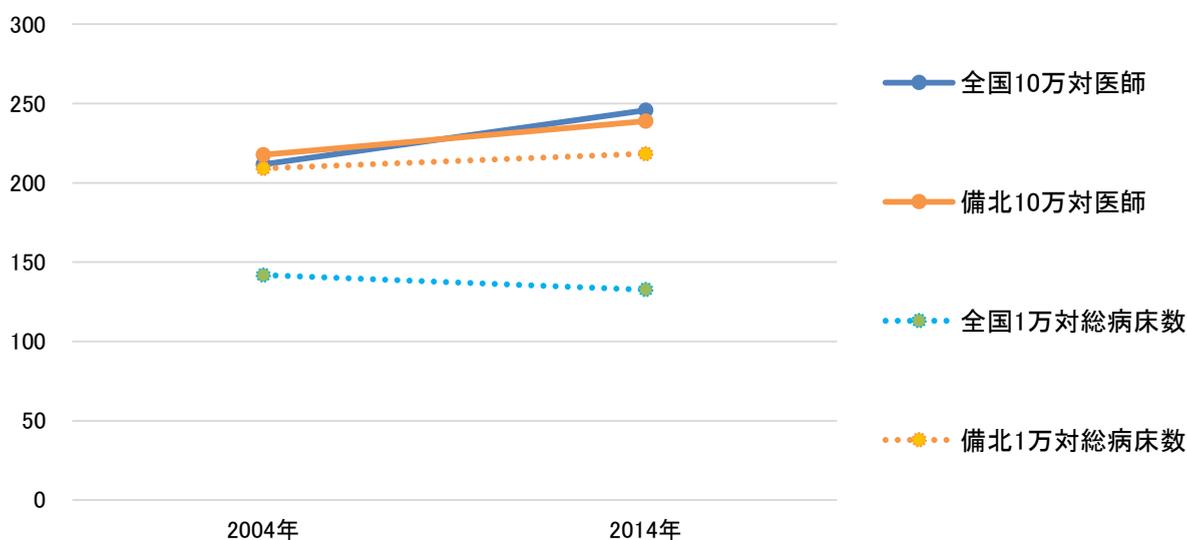
2004年の病院数が10(人口10万人当たり9.8病院(全国平均7.1)偏差値57)であったが、2014年に11(人口10万人当たり12.1病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が98(人口10万人当たり96診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に96(人口10万人当たり105診療所(全国平均79)偏差値63)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2142床(人口1万人当たり209(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に1993床(人口1万人当たり218(全国平均133)偏差値65)と、149床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

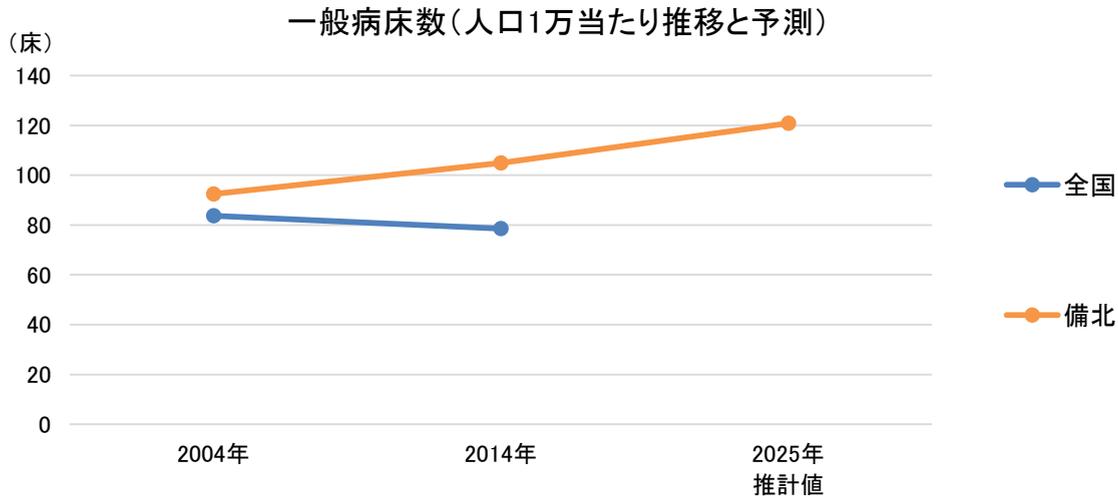
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が223人(人口10万人当たり218人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に218人(人口10万人当たり239人(全国平均246人)偏差値49)と、5人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



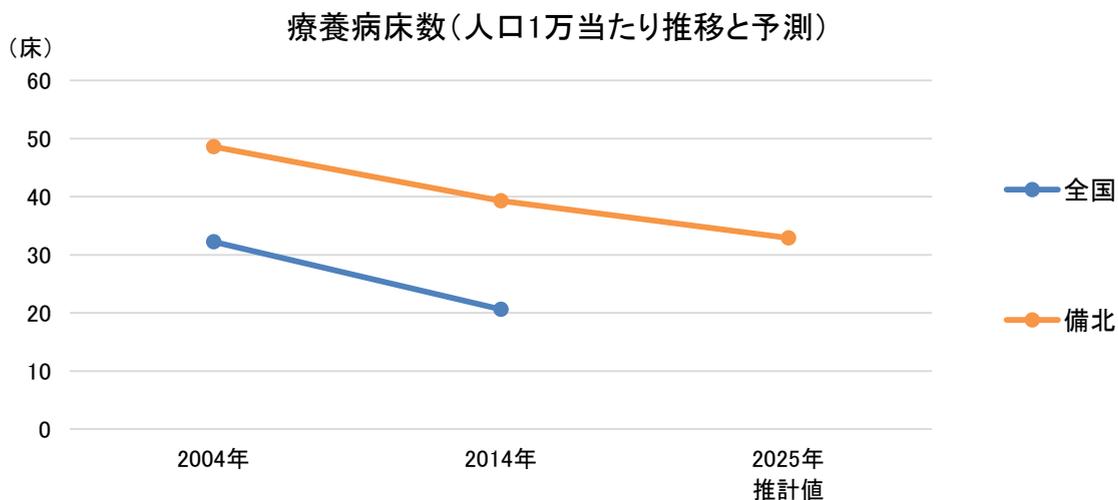
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が947床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2014年に957床(人口1万人当たり105(全国平均79)偏差値60)と、10床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には968床(2025年の推計人口1万人当たり121)になることが予想される。



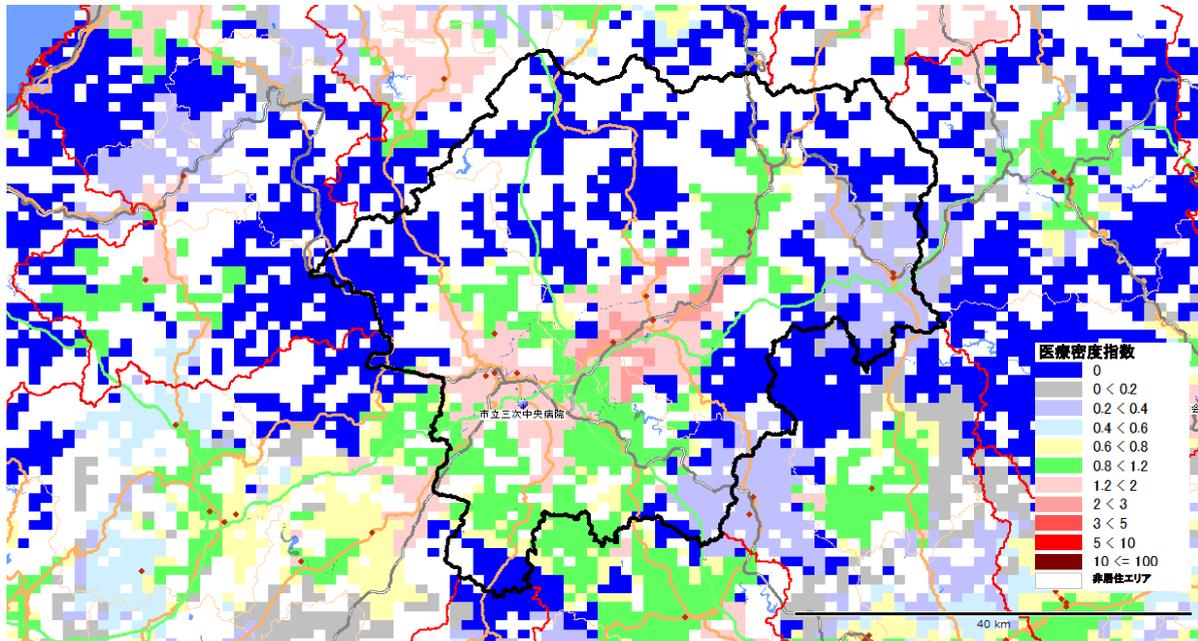
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が910床(75歳以上1000人当たり49(全国平均32)偏差値59)であったが、2014年に801床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値66)と、109床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には681床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。

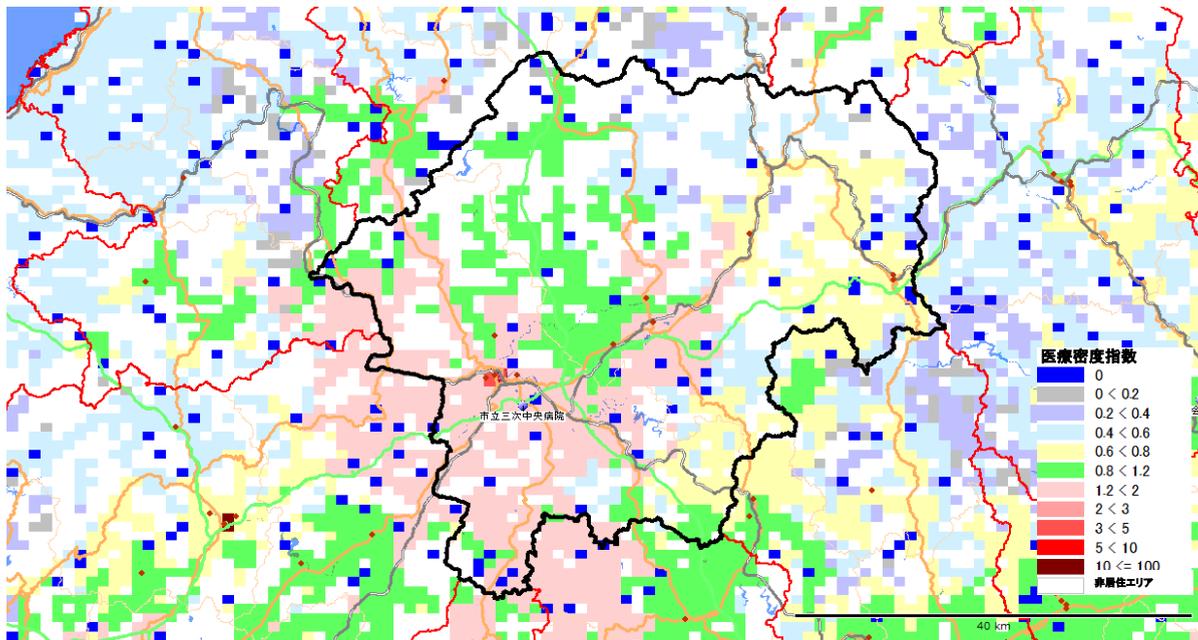


3. 医療密度⁵

図表34-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表34-7-2 慢性期医療密度指数マップ



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成26年病院報告(厚生労働省 平成26年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.352「地域の医療提供体制の現状-都道府県別・二次医療圏別データ集(2015年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数(全国値)の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。